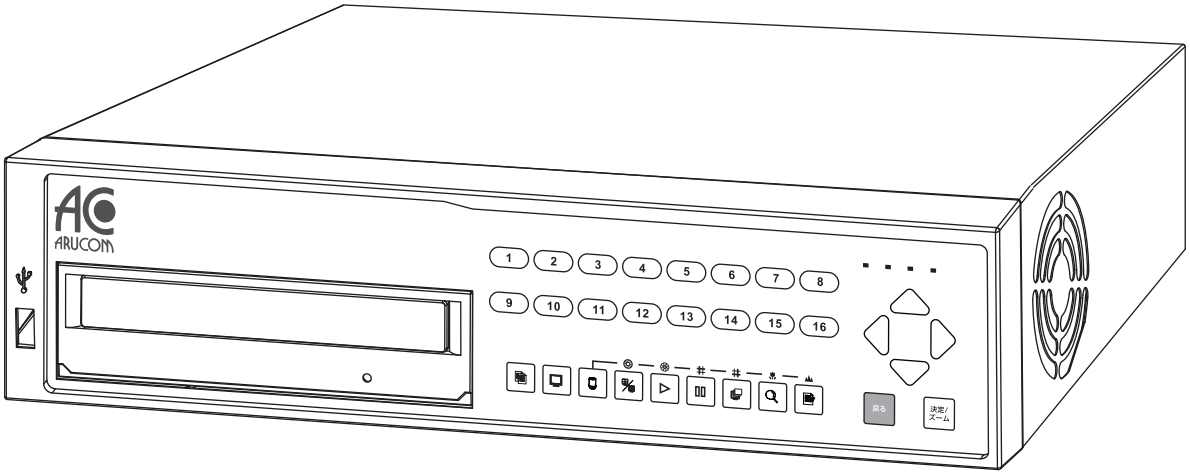
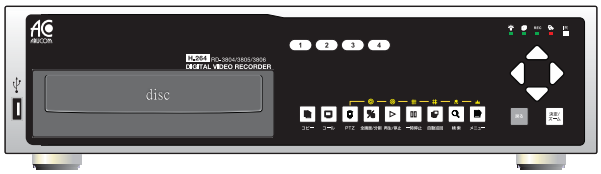
取扱説明書

00P3DG080SASJA1

H.264圧縮方式デジタルレコーダー

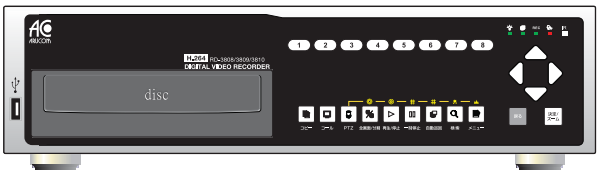


RD-3804/3805/3806



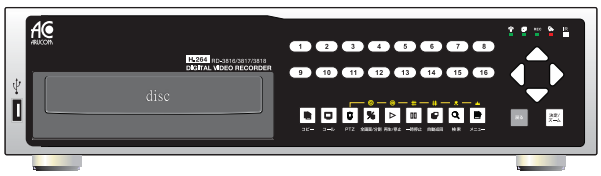
カメラ1～4台用

RD-3808/3809/3810



カメラ1～8台用

RD-3816/3817/3818



カメラ1～16台用

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上のご注意 2
安全のため必ずお守りください 2
正しくご使用いただくために必ずお守りください 6
主な特徴 7
主要部品の交換時期 7
付属品 7
各部の名称とはたらき 8
リモコンの各部の名称とはたらき 10
USBマウスを使った操作方法 10

つかいかた

操作前の準備 11
画面表示 11
ユーザー名･パスワードの入力 12
メニューの画面表示 13
日時の設定 14
カメラ映像の監視 16
1画面表示 16
分割画面表示 16
カメラ自動切換 16
録画 17
画質で選ぶ録画方式 18
簡易記録録画方式 19
転送速度で選ぶ録画方式 20
反応があった時だけ録画する方式 20
録画した映像の再生 21
ノーマル再生 22
記録開始･終了再生 22
時刻検索検索 23
カレンダー検索再生 24
アラーム検索再生 26
録画映像を外部メディアにコピーする 28
バックアップデータの再生 29
ネットワーク接続による遠隔監視 31
PTZカメラの設定･コントロール 36

設定のしかた

メニュー設定の構成と働き 38
システム設定 39
システム/バージョン情報 39
言語設定 39
日時設定 39
DVDタイトル 41
ユーザー管理 41
ネットワーク設定 44
RS-485設定 46
音声出力/ボタン操作音 46
IPカメラサポート 46
モニター設定 47
カメラタイトル表示 47
画面センサー調整 47
VGA解像度カラーバー表示 47
カラーバー表示 47

設定のしかた

カメラ設定 48
カメラ選択 48
カメラプロトコル 48
IDアドレス 48
カメラタイトル 48
マスク 49
明るさ 49
コントラスト 49
彩度 49
色あい 49
記録設定 50
録画方式設定 50
タイマー設定 50
記録方式 51
プログラム記録方式 51
簡易記録設定 52
上書き記録 52
音声記録 52
データ消去 53
自動切換設定 54
メインモニター切換時間 54
メインモニター切換設定 54
スポットモニター切換時間 54
スポットモニター切換設定 54
アラーム設定 55
ブザー 55
アラームアイコン表示 55
アラーム記録時間 55
チャンネル別設定 55
ハードディスク設定 57
全容量 57
残量 57
内蔵ディスク 57
メニュー設定初期化/コピー 58
メニュー設定初期化 58
メニュー設定ダウンロード 58
メニュー設定コピー 58
シャットダウン 59
電源オフ 59
再起動 59

その他

録画時間目安表 60
仕様 65
製品図 66
故障かな?と思ったら 67
アフターサービスについて 68

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 電源コードを傷つけない

- ●付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
- ●電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- ●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- ●定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■ 電源コード接続時の注意

- ●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- ●電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
- ●コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

⚠警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

⚠警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

⚠注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

●本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
●上下間は 1cm 以上の隙間を開ける
●左右は 5cm 以上を開ける
●ラック後面と壁面間は 10cm 以上開ける

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

●急激な温度（毎時 10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
●直射日光が当たる場所
●水にぬれやすい場所
●冷暖房器具や加湿器に近い場所
●エアコンなどの冷風が直接当たる場所
●ほこりやちりの多い場所
●火気のある場所
●磁気を持っているものに近い場所
●揮発性物質のある場所
●常に振動のある場所や車や列車など

付属の AC アダプターについて

⚠危険

■ 分解したり、改造しない

●内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
●直流電源器として使用しないでください。

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

●水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
●風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
●万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

■ ぬれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。

付属の AC アダプターについて

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

●異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
●異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ AC アダプターとコンセントの注意

●コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
●AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
●AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
●AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
●AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
●AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
●コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。

⚠注意

■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 不安定な場所に置かない

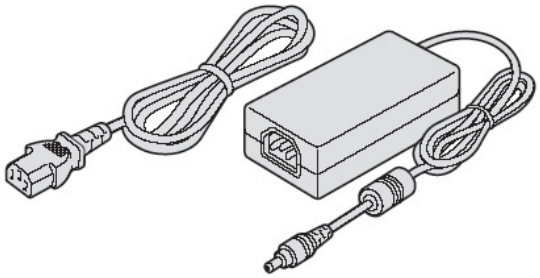
●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

⚠警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- ●お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ●本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、必要な映像はバックアップすることをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

⚠警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

■ 電源を切ってから約 30 秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの 4 箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてくだ

主な特徴

●H.264 による長時間記録
●4 画面でも動画でモニター可能
●最大録画スピード 120 IPS
●音声 1ch 記録対応
●USB メモリへのデータバックアップ
●本機をネットワーク経由でパソコンから操作可能
●VGA 映像出力
●リモコンと DVR ユーティリティーソフトウエア付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度 25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が 2 年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 放熱ファン

ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因になります。時々、放熱ファンが正常に動作しているか（止まっていたり異音がしていないか）を確認してください。

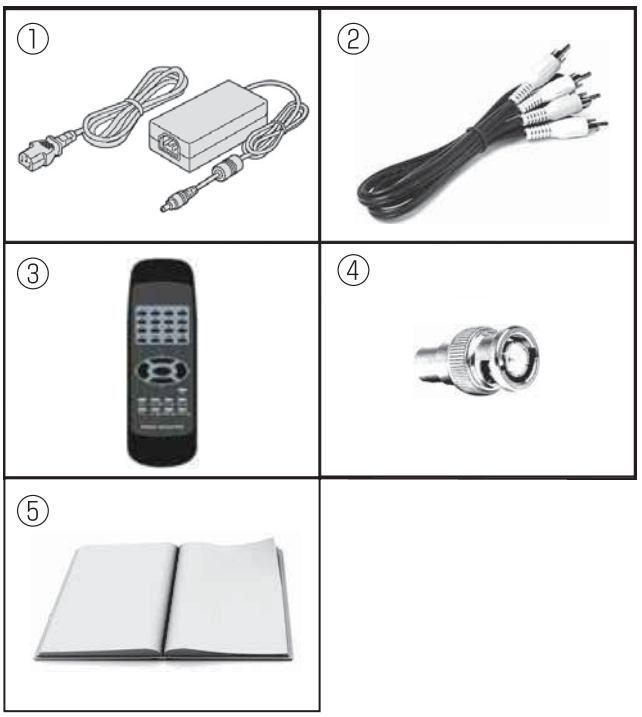
■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2 年（周囲温度 25℃）

付属品

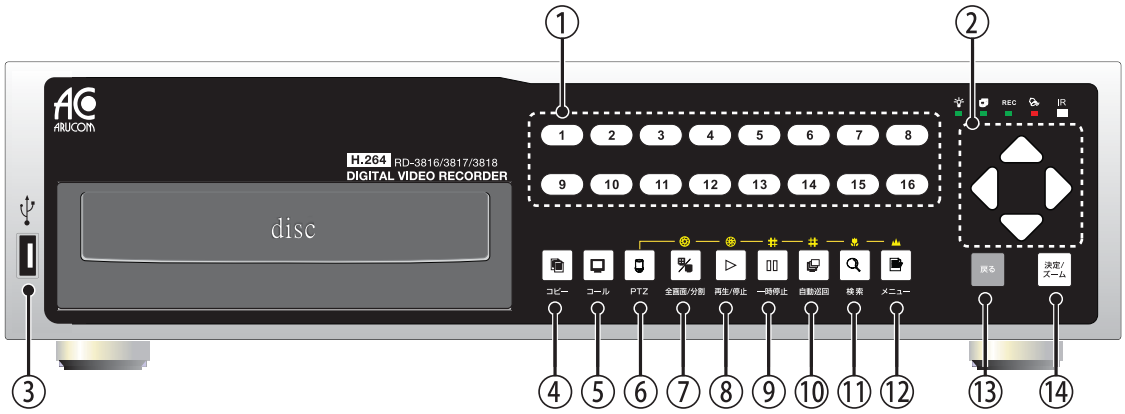
次の部品が入っているかをご確認ください。

①電源
②AV ケーブル
③リモコン（単 4 電池 ×2 付属）
④BNC 変換プラグ
⑤取扱説明書（本書）



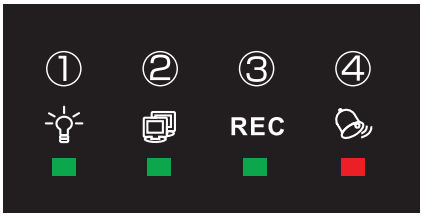
各部の名称とはたらき

前面パネル



①	1～16(チャンネル)	選択したカメラの映像を全画面表示します。
②	方向ボタン(上下左右)	メニュー操作時はカーソル移動、再生時は早送り、巻き戻し
③	USBコネクタ	USBメモリ・マウスを接続します。
④	コピー	録画映像をUSBメモリー・DVD-RWにコピー(保存)します。
⑤	コール	接続しているカメラを自動で切替えます。
⑥	PTZ	パンチルトズームカメラのコントロール画面を表示します。
⑦	全画面/分割	全画面/分割表示を切り替えます。
⑧	再生/停止	録画映像の再生・停止を行います。
⑨	一時停止	ライブ映像の静止、再生中の一時停止。
⑩	自動巡回	各カメラの映像を自動で巡回します。
⑪	検索	録画映像の再生場所を検索して再生します。
⑫	メニュー	メニュー画面を表示します。
⑬	戻る	設定メニューや他モードログイン中に終了・キャンセルします。
⑭	決定/ズーム	設定の確定 / 全画面での監視・再生中に2倍拡大表示します。

前面パネルのランプ説明



① 電源：装置の電源が正しく入るとLEDが点灯します。

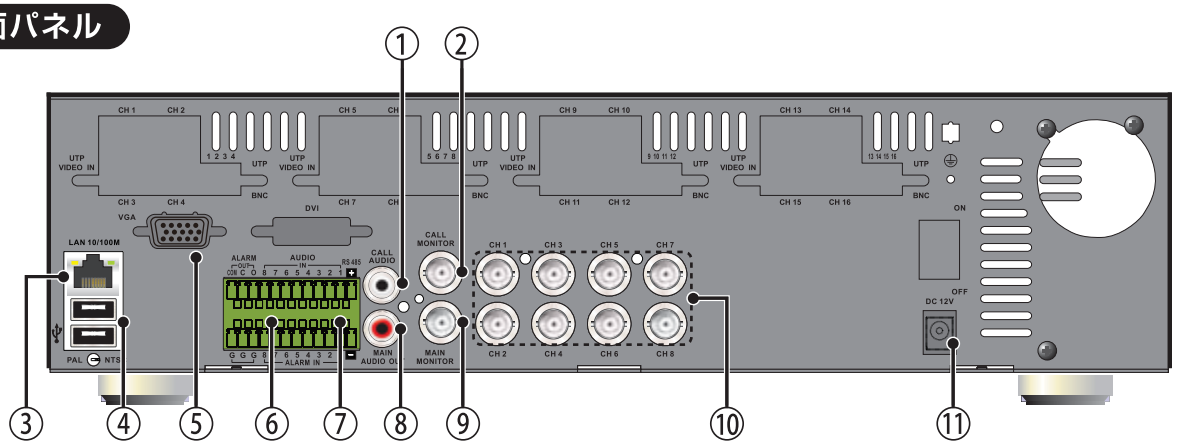
② ネットワーク：ネットワークに接続すると点滅します。

③ 録画：録画中はLEDが点滅します。

④ アラーム：アラームが作動するとLEDが点灯します。

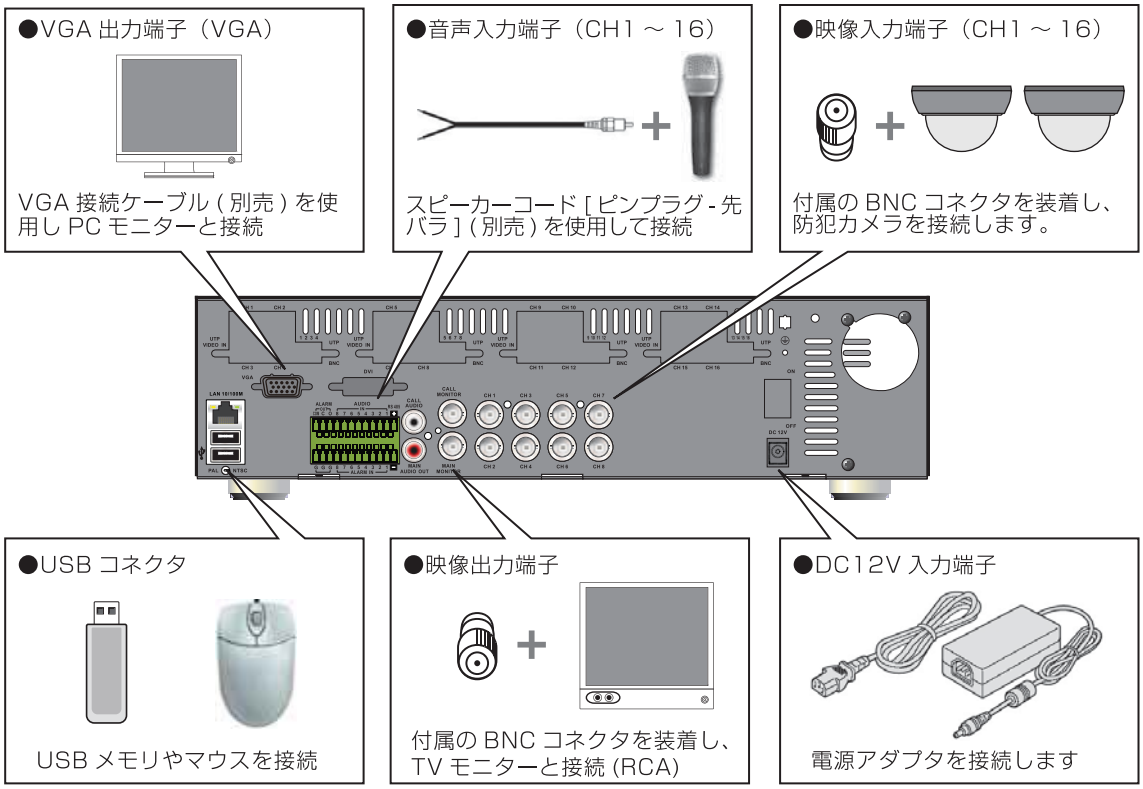
各部の名称とはたらき

背面パネル



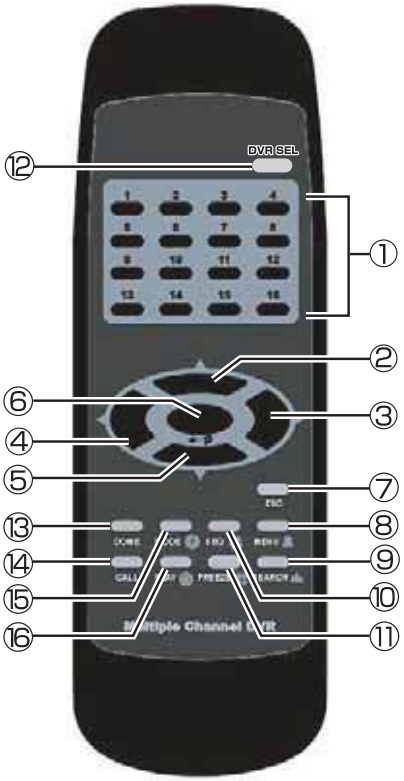
①	コール音声出力端子(RCA)	⑤	VGA出力端子(VGA)	⑨	メイン映像出力端子(BNC)
②	コール映像出力端子(BNC)	⑥	音声入力端子(D-sub)	⑩	映像入力端子(BNC)
③	ネットワーク端子(LAN 10/100M)	⑦	アラーム入力端子(D-sub)	⑪	DC12V入力端子(DC 12V)
④	USBコネクタ	⑧	メイン音声出力端子(RCA)		

基本接続



●すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
●接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
●AC アダプターの DC プラグは非常に抜けやすい構造となっています。本機を移動する場合は、プラグの抜けに注意してください。

リモコンの各部の名称とはたらき



USBマウスを使った操作方法

左クリック	ホイール	右クリック
メニューアイコン表示中や設定項目を選択します。 リモコンにある【ENTER】ボタンと同じ役割をします。	設定変更中(点滅中)にホイールを回すと項目が変ります。 ※【はい/いいえ】や【オン/オフ】など	通常画面でクリックするとメニューアイコンを表示。 設定画面ではリモコンにある【BK-UP/ESC】ボタンと同じ役割をします。

リモコンがきかなくなった時は

リモコンの【DVR SEL】を押し、続けて【ESC】ボタンを押してください。

①	1～16	選択したカメラの映像を全画面表示にします。
②	方向ボタン(上)	設定中:カーソル上移動 / ズーム中:表示映像を上移動。
③	方向ボタン(右)	設定中:カーソル右移動/ 再生中:早送り / ズーム中:表示映像を右移動。
④	方向ボタン(左)	設定中:カーソル左移動 / 再生中:巻き戻し / ズーム中:表示映像を左移動。
⑤	方向ボタン(下)	設定中:カーソル下移動 / ズーム中:表示映像を下移動。
⑥	決定/ズーム	設定した項目を決定します。/ 全画面での監視・再生中に2倍拡大 ON/OFF
⑦	ESC	設定メニューや他モードログイン中に終了・キャンセルします。
⑧	MENU	設定メニュー画面を表示します。
⑨	SEARCH	録画した映像を検索するモードになります。
⑩	SEQ	各カメラ映像を自動巡回します。(ON/OFF) ※全画面表示中のみ
⑪	FREEZE	ライブ映像・録画映像を一時停止します。(ON/OFF)
⑫	DVR SEL	複数のDVRを操作する際に使用します。※通常は使用しません。
⑬	DOME	パンチルトズームカメラのコントロールモード ON/OFF
⑭	CALL	再生中:バックアップを行います。 ※キャンセルはESCボタン
⑮	MODE	画面表示を変更します。(全画面表示・4分割画面)
⑯	PLAY	録画映像を再生 / 停止します。

操作前の準備

1.カメラ･モニターを接続し電源を入れます

コンセントに接続するだけで自動的に電源が入ります。

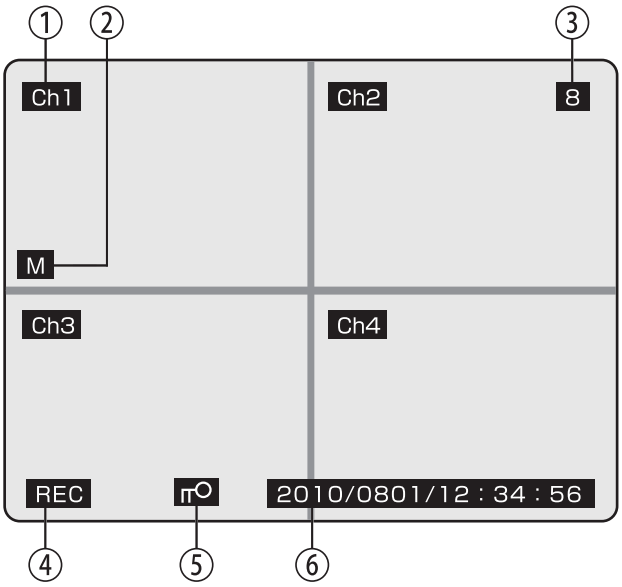
2.映像を確認します

カメラの映像がモニターに映るか確認します。全画面または分割画面で表示されます。

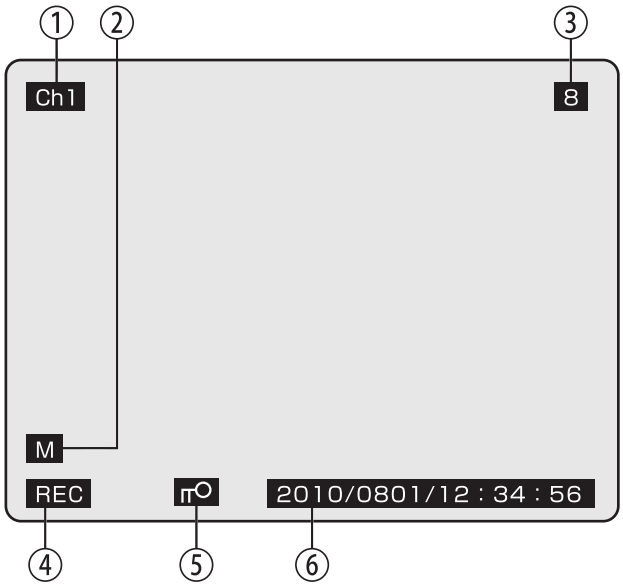
画面表示

電源を入れるとライブ映像が表示されます。画面上には操作に必要なアイコンが表示されます。

■4 分割



■1 分割



① カメラチャンネルの表示

Ch01 ：カメラチャンネル名が表示されます。

② アラームアイコンの表示

M ：動き検知した際に表示します。

L ：映像入力が途切れた際に表示します。

A ：アラーム検知した際に表示します。

③ ユーザー権限の表示

1～8 ：ユーザー権限 1 ～ 8 を表します。

N ：ログインが解除している状態。

④ 状態の表示

REC ：録画中の表示

⑤ キーロックの表示

：キーロック中に表示されます。
設定・解除方法は P42

⑥ 日付時刻の表示

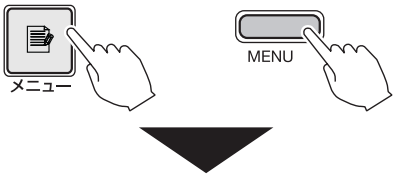
本機は日付と時刻により録画映像を管理します。
メニュー設定で必ず正しい日時を設定してください。
設定・変更方法は P13

操作前の準備

ユーザー名、パスワードの入力

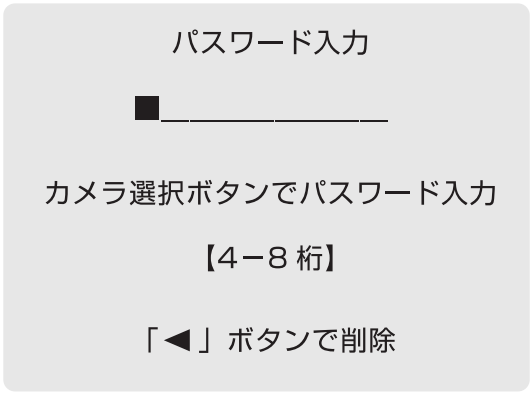
1 本体またはリモコンのメニューボタンを押し、ユーザー名入力画面を表示します

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞



小文字でadminと入力し「OK」を押します。

2 パスワードを入力します



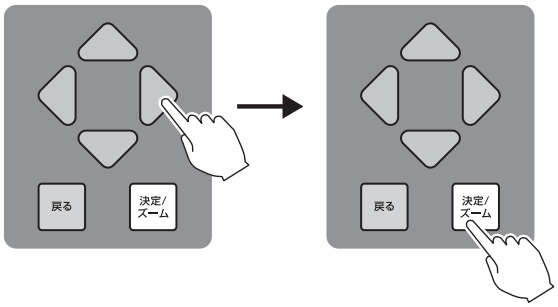
本体またはリモコンのボタン「 1 2 3 4 」を順に押し、「決定ボタン」を押すと管理メニューにログインします。

パスワード「1234」は工場出荷時のパスワードです。
不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。
（P42）

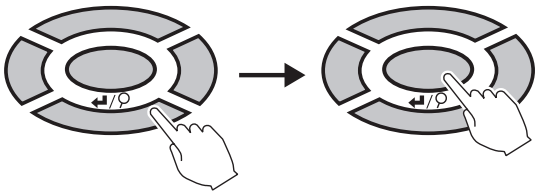
文字の入力方法について

「上下左右カーソルボタン」で入力する文字を選び「決定/ズーム」ボタンを押して決定します。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



設定や入力のキャンセル方法について

本体の「戻る」ボタンまたはリモコンの「ESC」ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞

操作前の準備

メニューの画面表示

① システム設定
日時やネットワーク等の設定を行います。

② モニター設定
表示内容･表示サイズ等の設定を行います。

③ カメラ設定
カメラの設定を行います。

④ 記録設定
タイマー・録画画質等の設定を行います。

⑤ 自動切換設定
自動巡回モードの設定を行います。

⑥ アラーム設定
アラーム録画の設定を行います。

⑦ ハードディスク設定
ハードディスクの設定を行います。

⑧ メニュー設定初期化 / コピー
メニュー設定の初期化･コピーを行います。

⑨ シャットダウン
電源オフ / 再起動を行います。

●カメラを接続しているのに映像が表示されない場合は、カメラの接続ケーブル・電源が正しく接続されていないか故障の可能性があります。必ずお電話にてお問い合わせ下さい。

操作前の準備

A 日時の設定

1 メニュー画面を開きます

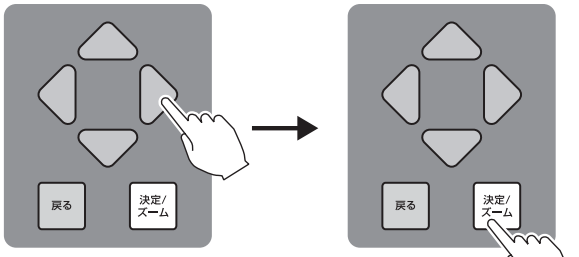
本体またはリモコンのメニューボタンを押し、
メニュー画面を開きます。
※ユーザー名の入力画面が表示された場合は、
ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。
P.10 参照

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞

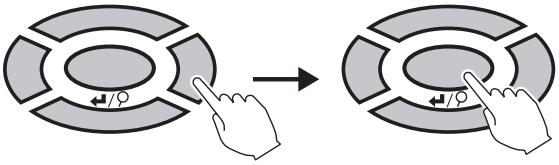
2 [システム設定] を選びます

本体またはリモコンの「左右」ボタンを押して
[システム設定] を選択し、本体またはリモコンの
[決定] ボタンを押してシステム設定画面を開きます。
※選択中のメニューは色が黄色に変わります。

＜ 本体操作の場合 ＞

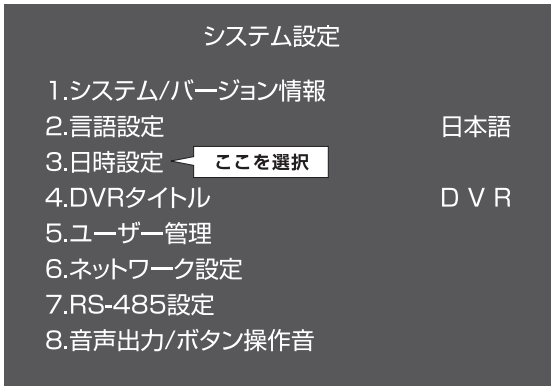


＜ リモコン操作の場合 ＞

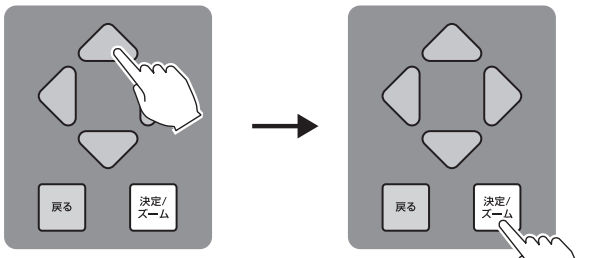


3 日時設定を選びます

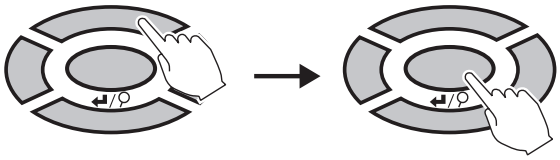
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して [日時設定]
を選択し、本体またはリモコンの [決定] ボタンを押して
日時設定画面を開きます。

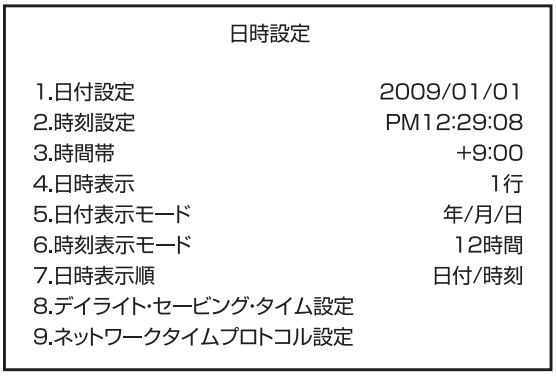


＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞





次ページに続きます。

操作前の準備

4 日時の設定、表示形式、表示順を設定します

変更が必要な項目を選び、設定を変更します。

日時設定	
1.日付設定	2009/01/01
2.時刻設定	PM12:29:08
3.時間帯	+9:00
4.日時表示	1行
5.日付表示モード	年/月/日
6.時刻表示モード	12時間
7.日時表示順	日付/時刻
8.デイライト･セービング･タイム設定	
9.ネットワークタイムプロトコル設定	

① **日付設定：**
年月日の値を入力します。

② **時刻設定：**
時間の値を入力します。

③ **時間帯：**
日本国内で使用する際は [+9：00] を設定します。

④ **日付表示：**
表示を 1 行または 2 行から選びます。

⑤ **日付表示モード：**
表示を [年 / 月 / 日]、[月 / 日 / 年]、[日 / 月 / 年] から選べます。

⑥ **時刻表示モード：**
表示を [12 時間表示]、[24 時間表示] から選べます。

⑦ **日時表示順：**
表示を [日付 / 時刻]、[時刻 / 表示] から選べます。

⑧ **デイライト・セービング・タイム設定：**
サマータイムの設定をします。

⑨ **ネットワークタイムプロトコル設定：**
機器の時刻を正確に保持することが可能です。
※インターネットに常時接続する必要があります。

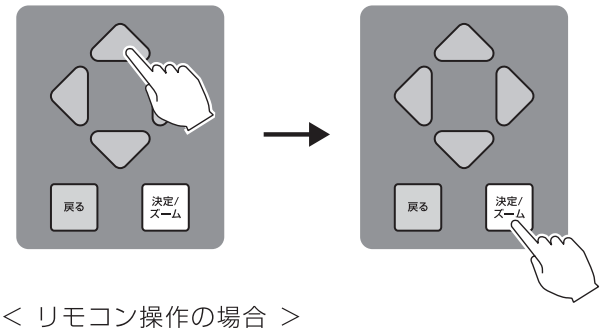
詳しい説明はP.39 を参照ください

項目の設定方法について

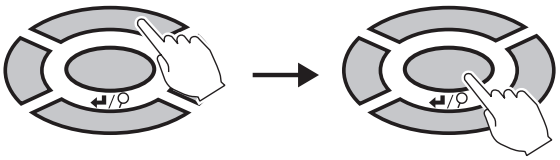
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して項目を選び本体またはリモコンの [決定] ボタンを押すと、その項目が点滅します。その状態で、本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して希望する値を選びます。
最後に本体またはリモコンの [決定] ボタンを押すと、選んだ値で決定します。

1. 上下ボタンで項目を選択し、決定ボタンを押す

＜ 本体操作の場合 ＞



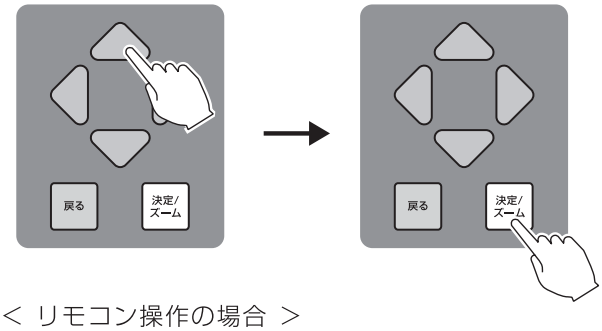
＜ リモコン操作の場合 ＞



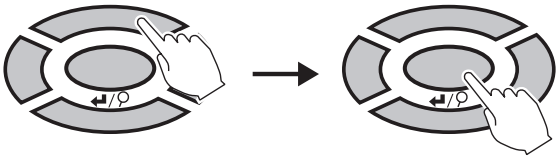
※選んだ項目の値が点滅します。

2. 上下ボタンで値を変更し、決定ボタンで確定。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



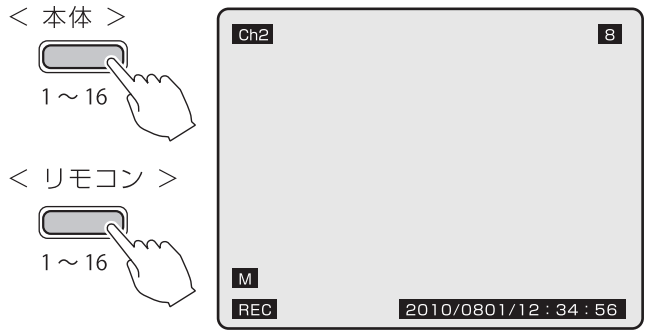
カメラ映像の監視

A 1 画面表示

例：カメラ2を1画面表示する場合

1 本体もしくはリモコンの「2」ボタンを押す

カメラ2の映像が 1 画面で表示されます。

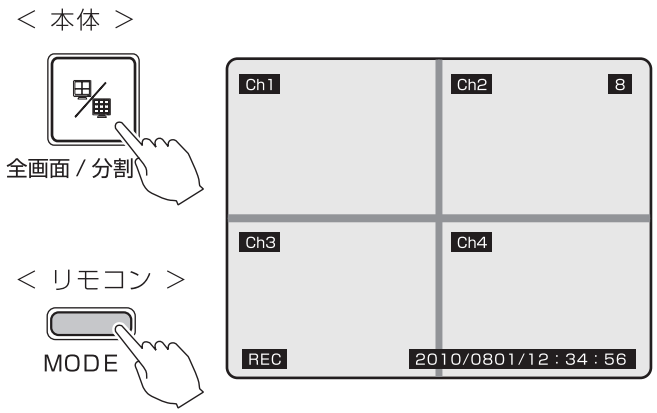


B 分割画面表示

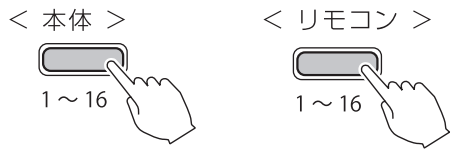
接続しているカメラの映像を同時に表示できます。

1 本体の「全画面 / 分割」ボタンまたは、リモコンの「MODE」ボタンを押す

※4.8.16CHによって分割表示のパターンが異なります。



2 1画面に戻すときは、リモコンの「1 ～ 16」ボタンのいづれかを押す

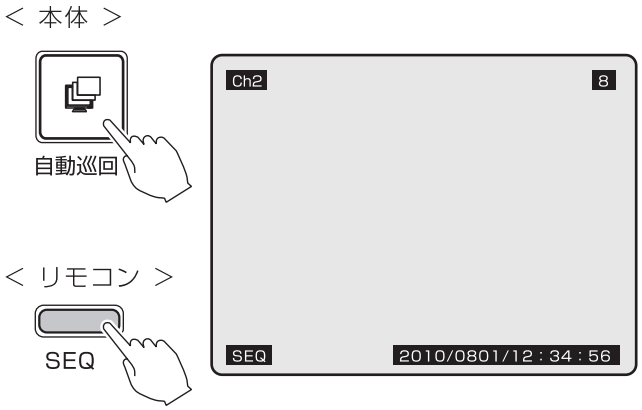


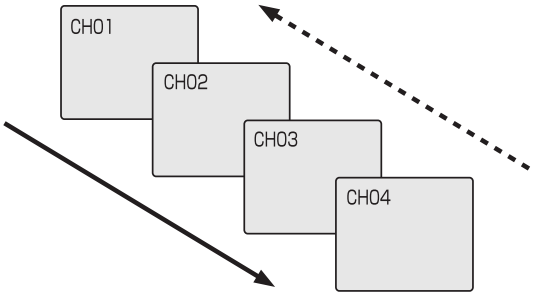
C カメラ自動切換

カメラの映像を順番に自動で切り換えます。

1 本体の「自動巡回」ボタンまたは、リモコンの「SEQ」ボタンを押す

表示中のカメラからチャンネル番号順に、自動的にカメラが切り換わります。

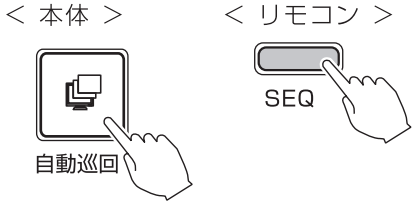




メモ 切り替える順番や切換時間を設定することが出来ます。(P54)

2 終了するときは、本体の「自動巡回」ボタンまたは、リモコンの「SEQ」ボタンを押す

自動切換が解除されます。



録画

本機では目的に合わせて以下の録画方式から選ぶことができます。

A 画質で選ぶ録画方式... P18
画質を決めて録画します。

B 簡易記録方式... P19
データを保存しておく日数を決めて録画します。

C プログラム記録方式... P20
カメラごとにコマ数・画質を決めて録画します。

D 転送速度で選ぶ録画方式... P20
転送速度を決めて録画します。遠隔監視向け。

E 反応があった時のみ録画... P20
動き検知、外部センサーに反応があった時だけ録画します。

メモ 工場出荷時は電源を入れると自動的に「高画質録画」の設定で録画を開始します。

A ～ E 共通　設定のながれ

1 メニュー画面を開く

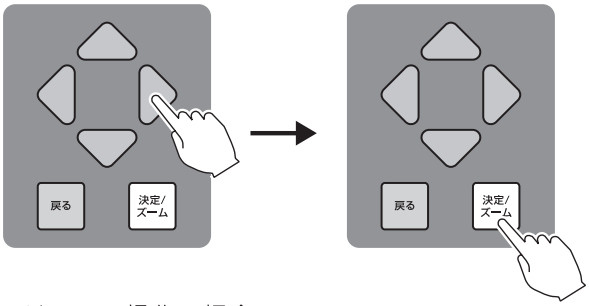
本体の「メニュー」またはリモコンの「MENU」ボタンを押し、メニュー画面を開きます。
※ユーザー名の入力画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。
（P.12 参照）

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞

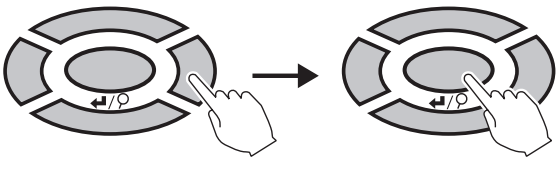
2 記録設定を開く

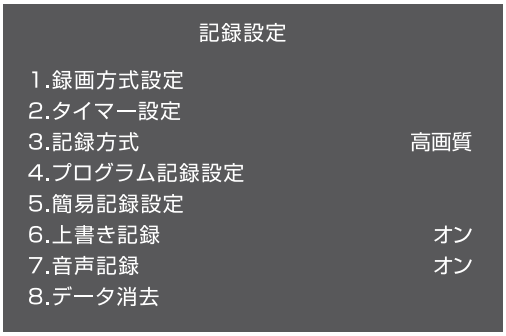
本体またはリモコンの「左右」ボタンを押して、[記録設定] を選び、本体の [決定] または [↵] ボタンを押します。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



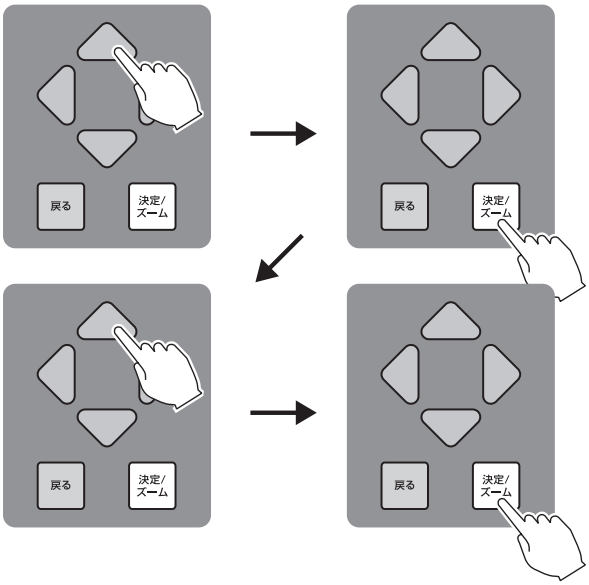


録画

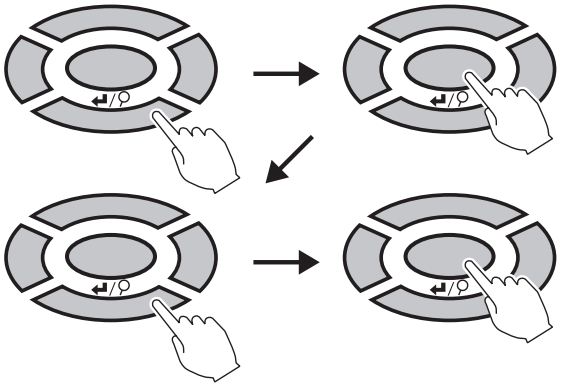
3 記録方式を選ぶ

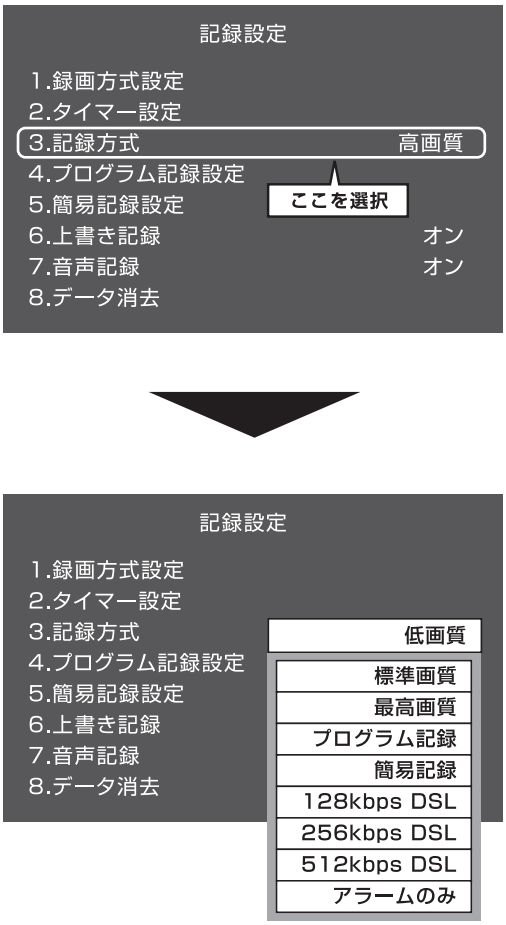
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、[記録方式] を選び、[決定] ボタンを押し、[上下] ボタンで [それぞれの記録方式] を選び、本体の [決定] またはリモコンの [↵] ボタンを押します。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



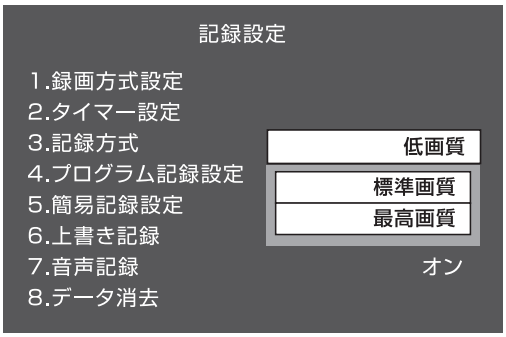


A 画質で選ぶ録画方式

[低画質]/[標準画質]/[最高画質] の中から選択します。

それぞれの画質について

○最高画質…最高画質で録画します。
○標準画質…標準画質で録画します。
○低画質…低画質で録画します。



録画

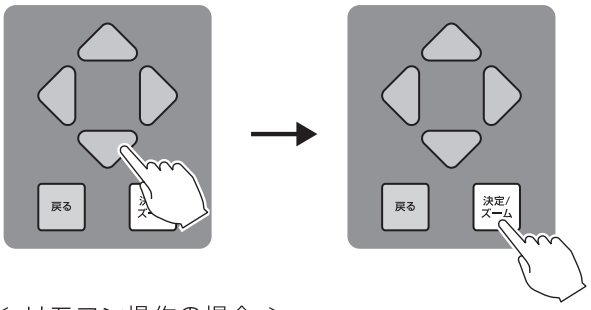
B 簡易記録方式

[簡易記録] を選択します。

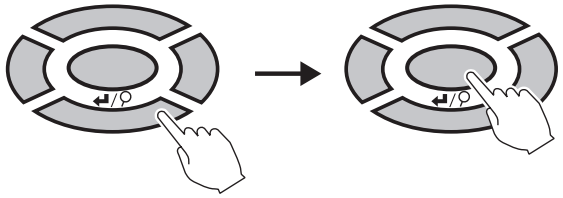
B－1 詳細を設定する画面を開く

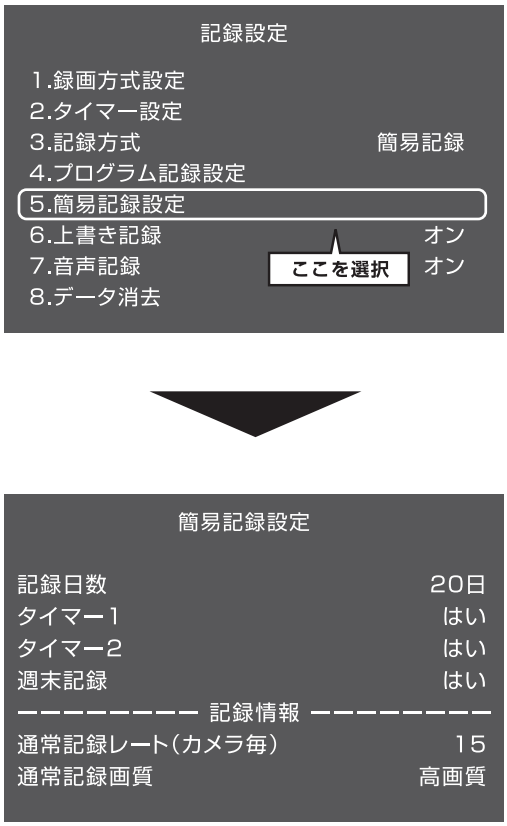
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、[簡易記録設定] を選び、本体の [決定] または [↵] ボタンを押します。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞





B－2 詳細を設定する

本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、それぞれの項目を選び、本体の [決定] または [↵] ボタンを押します。

それぞれの設定項目について

○記録日数
録画データを保存しておく日数を設定します。
※日数が多くなるのに比例して画質･コマ数は低くなります。

○タイマー1
タイマー1の録画設定をそれぞれ有効にする､しないを設定します。
※タイマーの設定はP50参照

○タイマー2
タイマー2の録画設定をそれぞれ有効にする､しないを設定します。
※タイマーの設定はP50参照

○週末記録
週末記録の録画設定をそれぞれ有効にする､しないを設定します。
※週末記録の設定はP50参照

記録情報

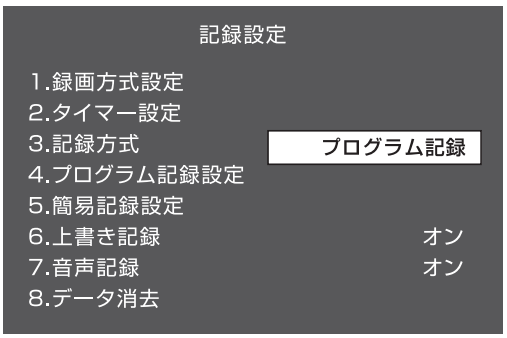
○通常記録レート
カメラごとの録画コマ数

○通常記録画質
記録する画質
(低画質､標準画質､準高画質､高画質､最高画質)

録画

E カメラ 1 台ずつ設定する録画方式

[プログラム記録] を選択します。
詳細の設定は P51 を参照ください。

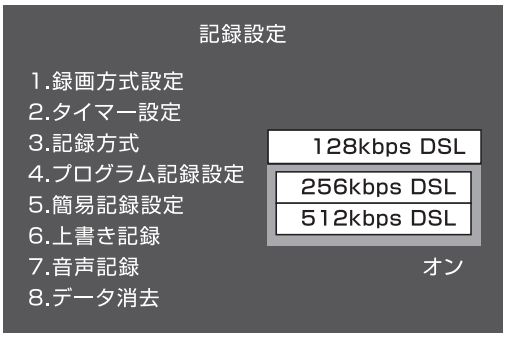


D 転送速度で選ぶ録画方式

[128kbps DSL]/[128kbps DSL]/[128kbps DSL]
の中から選択します。

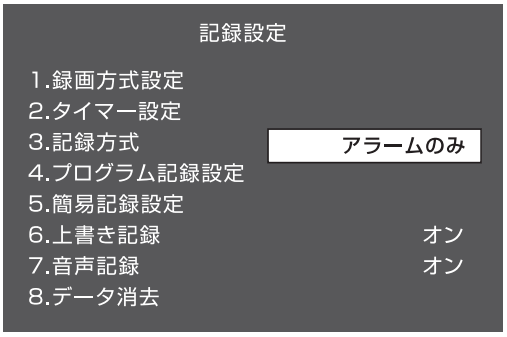
それぞれの転送速度について

○128kbps…転送速度を優先した録画方式。
○256kbps…転送速度と画質を両立した録画方式。
○512kbps…画質を優先した録画方式。



E 反応があった時だけ録画方式

[アラームのみ] を選択します。
アラームの設定は P★★を参照

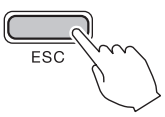


4 メニュー画面を閉じる

本体の「戻る」またはリモコンの「ESC」ボタンを
数回押して、メニュー画面を閉じます。

< 本体 >

< リモコン >



録画した映像の再生

録画した映像の検索方法には以下の種類があります。

A ノーマル再生... P22
一番古い映像から再生します。

B 記録開始・終了再生... P22
一番古い映像または一番新しい映像を再生します。

C 時刻検索再生... P23
再生時刻を指定して再生します。

D カレンダー検索再生... P24
カレンダーから日時を選択し再生します。

E アラーム検索再生... P26
センサーまたは動き検知した映像をリストから選択し再生します。

■再生中の各ボタンのはたらき

本体のボタン	リモコンのボタン	動作内容
		映像の再生、停止を行います。
		押すごとに早送りスピードが変わり、画面左下に表示されます。 速度 1(標準)→2 →4 →8 →16 →32 →1(標準)
		押すごとに早戻しスピードが変わり、画面左下に表示されます。 速度 1(標準)→2 →4 →8 →16 →32 →1(標準)
		一時停止（静止画表示）
		選択した番号のカメラを全画面表示します。 ※カメラ最大接続台数 4ch/8ch/16ch によって異なります
		表示を全画面 / 分割画面で切替ます。
		拡大表示（2 倍ズーム）の ON/OFF ※上下左右ボタンで範囲の移動を行います。
		コピー (バックアップ) の開始と停止
		フリッカーによる映像のちらつきを軽減します。ON/OFF

録画した映像の再生

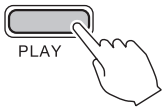
A ノーマル再生

1 ライブ映像を監視中に本体の [再生 / 停止] またはリモコンの「PLAY」ボタンを押す

一番古い録画データから再生します。
停止する際は、もう一度ボタンを押します。

＜ 本体 ＞

＜ リモコン ＞



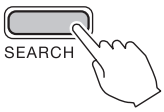
B ～ E 共通 設定のながれ

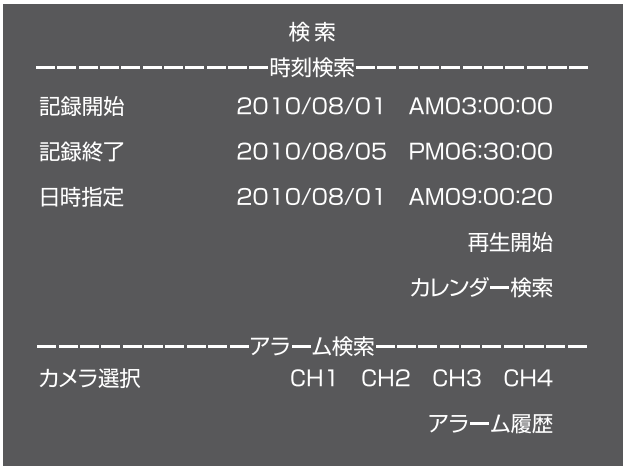
1 検索画面を開く

本体の [検索] またはリモコンの「SEARCH」ボタンを押す。

＜ 本体 ＞

＜ リモコン ＞

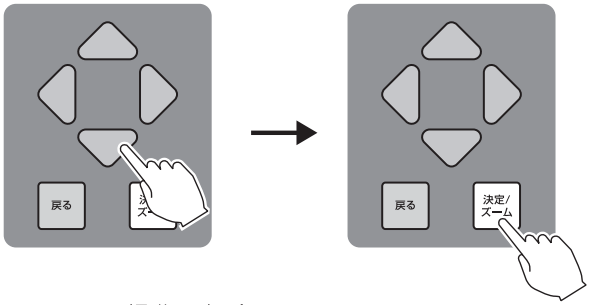




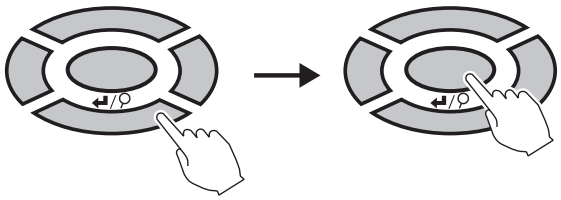
B 記録開始・終了再生

本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、[記録開始] または [記録終了] を選び、本体の [決定] または [↵] ボタンを押すと再生が始まります。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



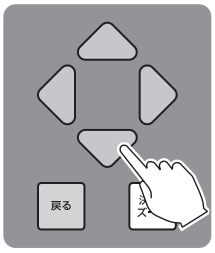
録画した映像の再生

C 時刻検索再生

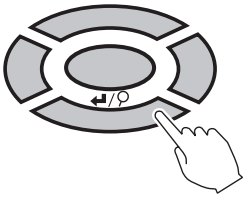
1 [日時指定] を選択します。

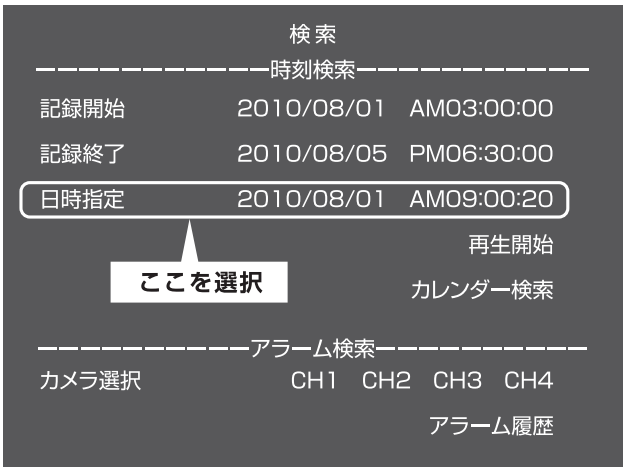
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、[日時指定] にカーソルを合わせる。

< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >





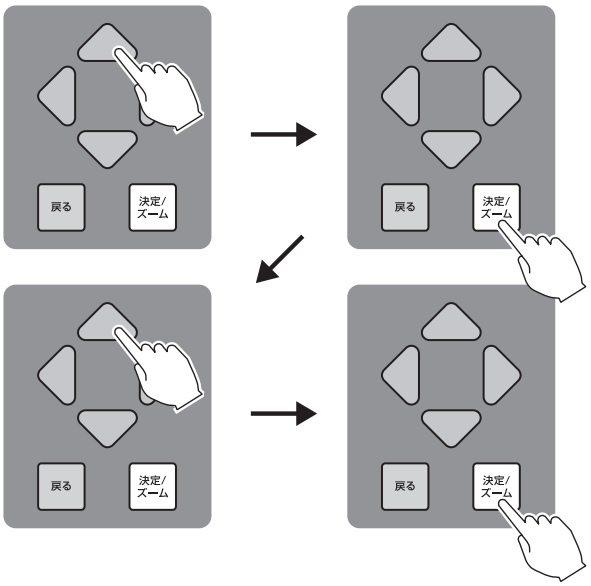
2 日時を設定します。

本体またはリモコンの「左右」ボタンを押して、変更箇所を選び、[決定] ボタンを押し、[上下] ボタンで値を変更し、本体の [決定] またはリモコンの [↵] ボタンを押す。

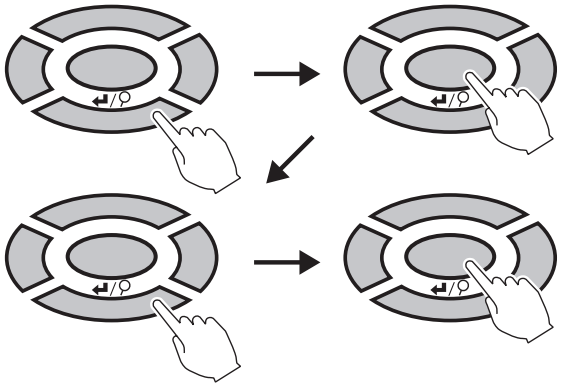
2010 / 08 / 01 AM09 : 00 : 20

※[年][月][日][時間][分][秒] それぞれ設定します

< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >

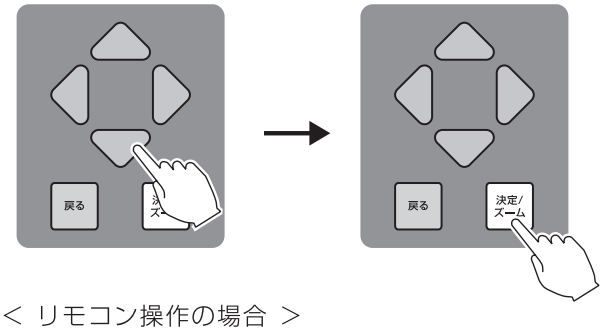


録画した映像の再生

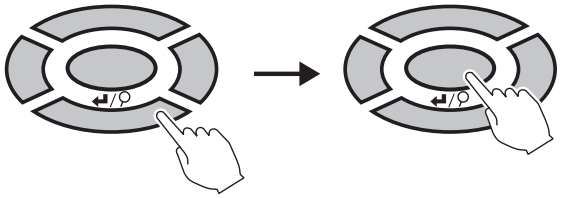
3 [再生開始] を選択し再生します。

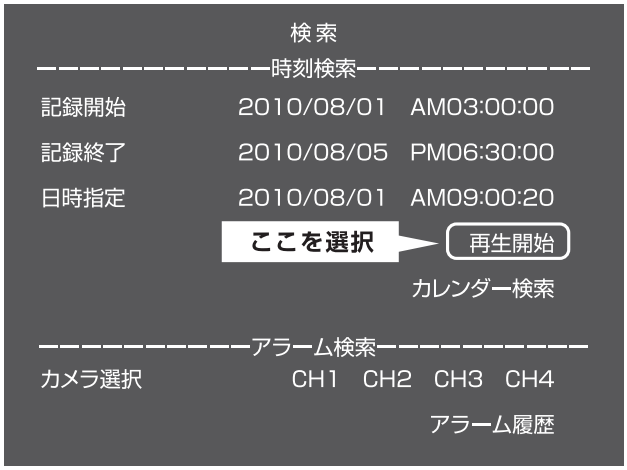
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、
[再生開始] を選び、本体の [決定] または [↵]
ボタンを押すと再生が始まります。

< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >



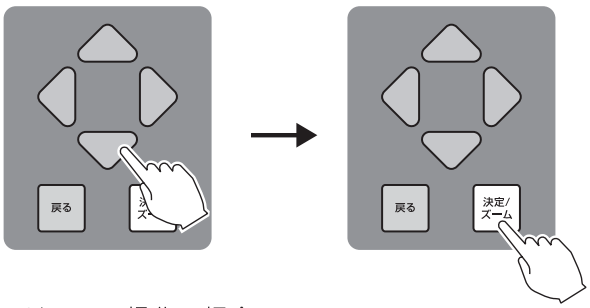


D カレンダー検索再生

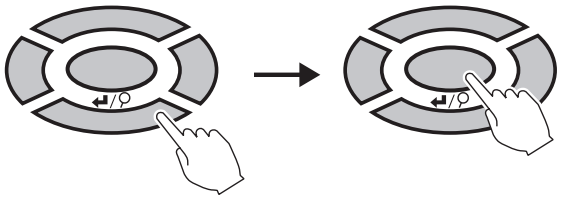
1 [カレンダー検索] を選択します。

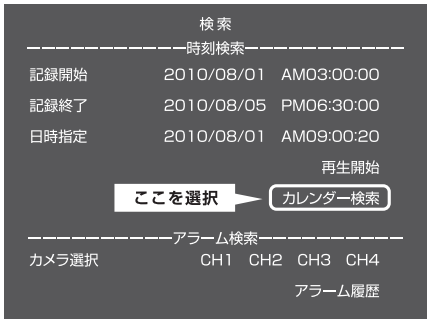
本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、
[カレンダー検索] を選び、本体の [決定] または
[↵] ボタンを押してカレンダーを表示します。

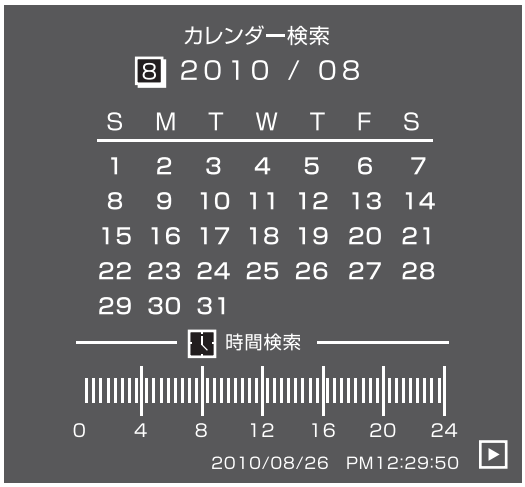
< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >





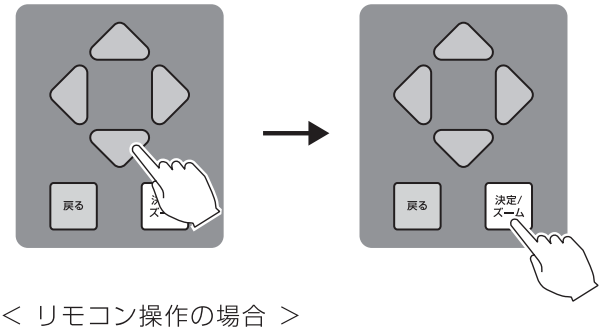


録画した映像の再生

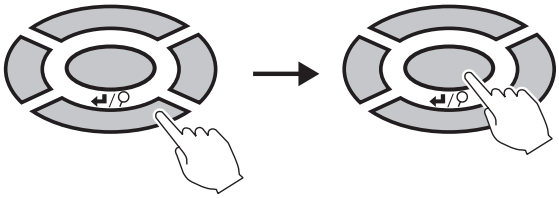
2 日付を指定します。

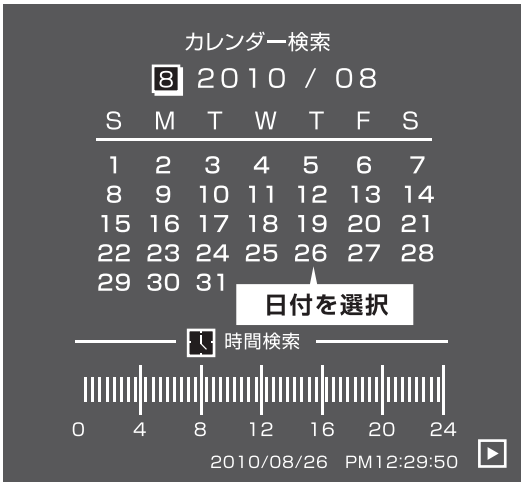
本体またはリモコンの「上下左右」ボタンを押して、再生する日を選び、本体の [決定] または [↵] ボタンを押して次に進みます。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



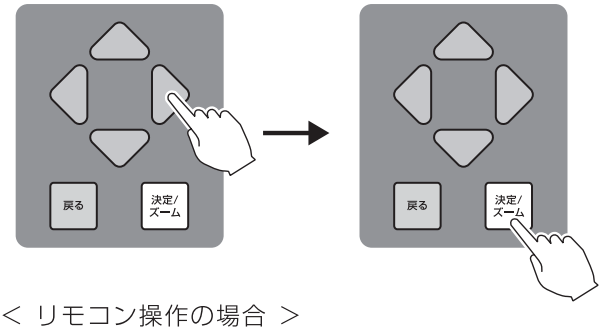


※録画映像のある日は数字が白く、録画映像の無い日は文字の色が黒です。

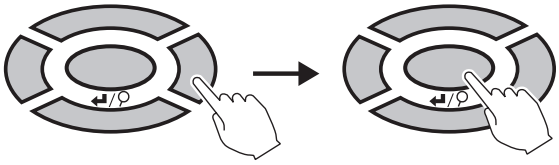
3 時間を指定します。

日付を選択すると [↓ 矢印] が表示されるので、本体またはリモコンの [左右] ボタンを押して再生する時間を選びます。
※押したままにすると移動のスピードが速くなります。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



バーの色について

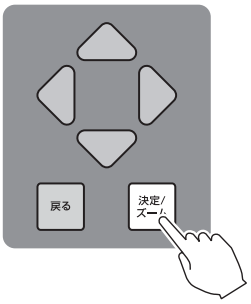
バーの色で通常録画なのか、アラーム検知なのかがわかります。
オレンジ色…通常録画
赤色…アラーム録画

録画した映像の再生

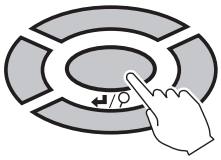
4 矢印を示したところから再生します。

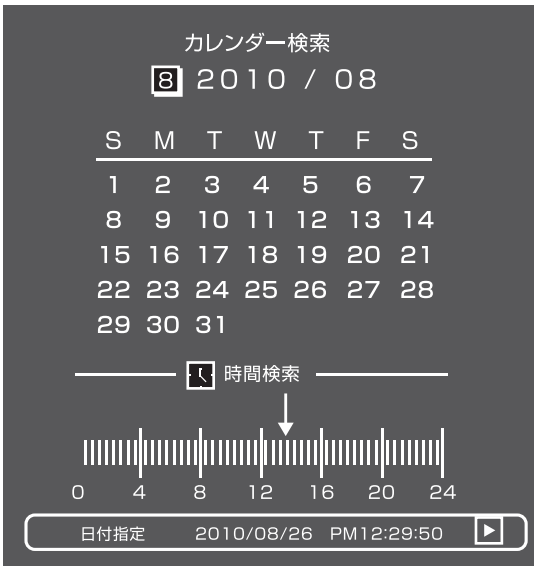
本体の [決定] または [↵] ボタンを 2 回押すと再生します。

＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞



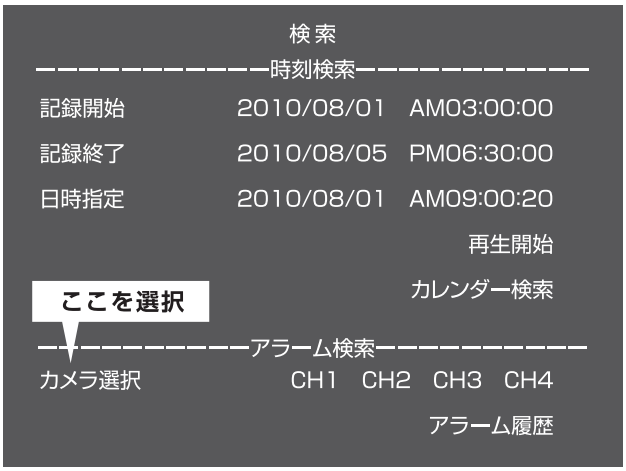


E アラーム検索再生

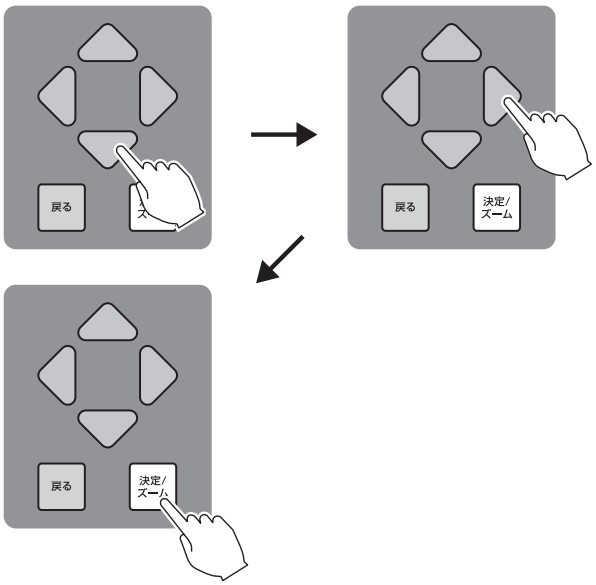
1 検索するカメラを選択します。

本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、[カメラ選択] にカーソルを合わせ、本体またはリモコンの [左右] ボタンを押して検索しないカメラを選び、本体の [決定] またはリモコンの [↵] ボタンを押して色を暗くします。

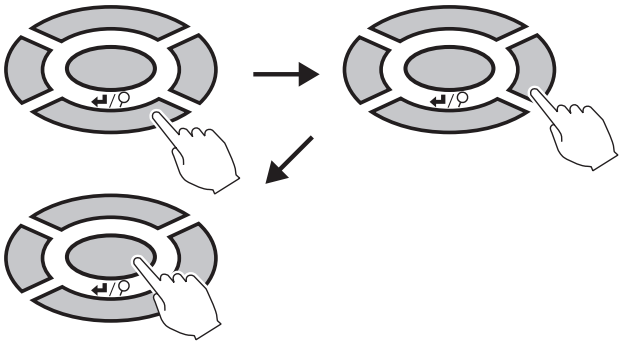
初期設定では全てのカメラが選択された状態です。



＜ 本体操作の場合 ＞



＜ リモコン操作の場合 ＞

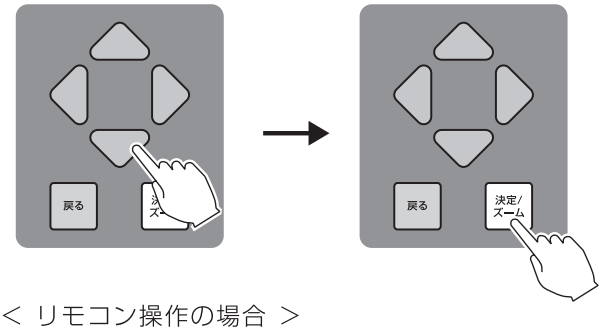


録画した映像の再生

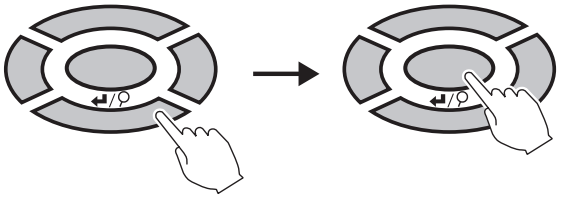
2 [アラーム履歴] を選択しリストを表示する。

本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、
[アラーム履歴] を選び、本体の [決定] または [↵]
ボタンを押すとアラーム履歴が表示されます。

< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >



検索

時刻検索

記録開始	2010/08/01	AM03:00:00
記録終了	2010/08/05	PM06:30:00
日時指定	2010/08/01	AM09:00:20

再生開始

カレンダー検索

アラーム検索

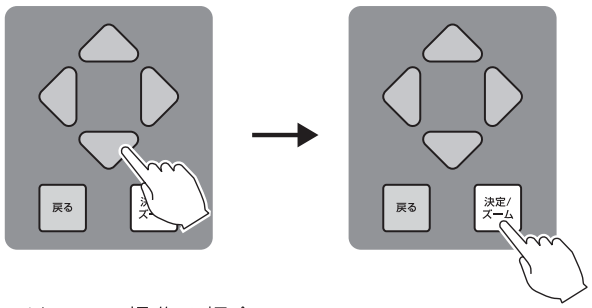
カメラ選択　CH1　CH2　CH3　CH4

ここを選択 → アラーム履歴

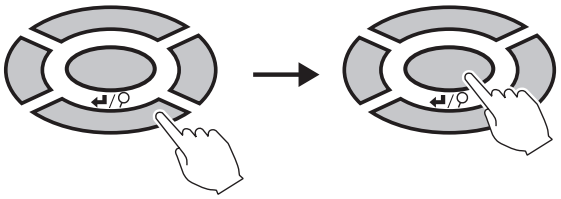
3 履歴を選択します。

本体またはリモコンの「上下」ボタンを押して、
リストから 1 つを選択し、本体の [決定] または
リモコンの [↵] ボタンを押すと再生が開始します。

< 本体操作の場合 >



< リモコン操作の場合 >



アラーム履歴

日付	時間	CH	種類
2010/08/16	09:12:24	1	アラーム
2010/08/16	00:14:19	2	モーション
2010/08/15	15:11:55	1	モーション
2010/08/15	14:46:32	4	モーション
2010/08/15	13:08:16	2	アラーム
2010/08/15	10:29:38	4	モーション
2010/08/15	04:41:05	1	モーション
2010/08/15	01:55:41	1	モーション
2010/08/14	21:23:37	3	アラーム
2010/08/14	17:29:33	1	アラーム

リストから 1 つ選び再生します

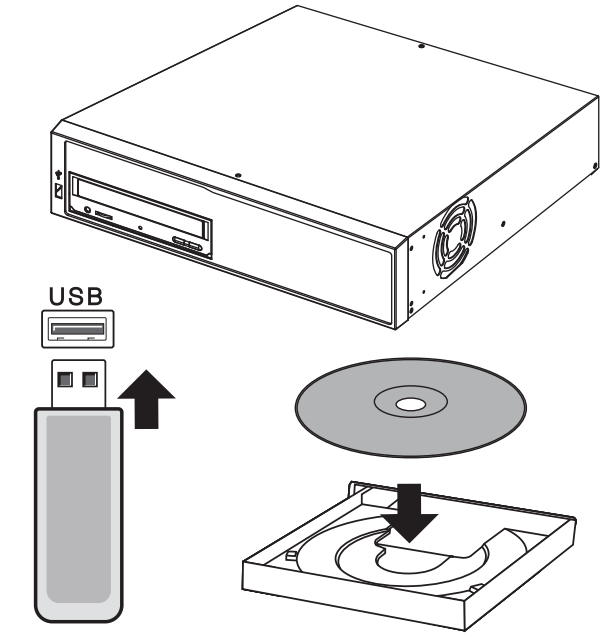
マウス操作の場合、ホイールを回して
リスト移動を行います。

録画映像を外部メディアにコピーする

録画した映像を USB メモリ、CD-R、DVD-R にコピーすることができます。
コピーした映像はパソコンで見ることができます。

1 メディアを挿入する。

本体前面パネルにある USB メモリー挿入口に USB メモリーを挿入します。



USB メモリー　　CD-R/DVD-R

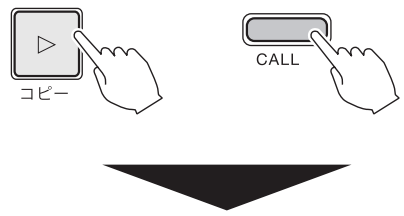
2 映像を再生する。

コピーする少し手前から再生を行います。
再生方法は P★★参照

3 コピー開始位置を決める。

コピーを開始する箇所がきたら本体の「コピー」またはリモコンの「CALL」ボタンを押します。

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞



画面左下に COPY START と表示され
コピー開始位置が決定します。

3 コピー停止位置を決める。

コピーを停止する箇所がきたら本体の「コピー」またはリモコンの「CALL」ボタンを押します。

＜ 本体 ＞　　＜ リモコン ＞

画面左下に COPY END と表示され
コピーを停止する位置が決まります。

4 コピーを開始する。

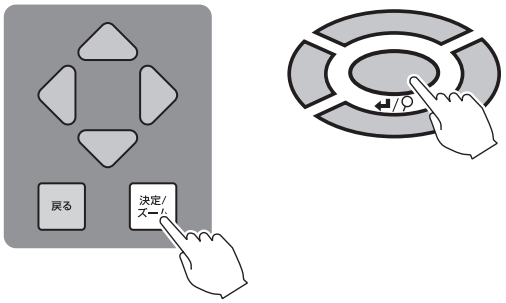
コピー情報が画面に表示されたのを確認し、本体の「決定」またはリモコンの「↵」ボタンを押してコピーを開始します。

コピー
コピー先:USB Flash Memory
データサイズ = ○○MB
実際のコピー範囲:

開始: 2010/08/16 PM11:16:25
終了: 2010/08/16 PM11:27:57

決定/ズーム: コピー開始　　戻る: キャンセル

＜ 本体操作の場合 ＞　＜ リモコン操作の場合 ＞



5 コピーの終了。

画面に [バックアップ完了！] の文字が表示されたらコピーが完了しています。
いづれかのボタンを押すと通常画面に戻ります。

バックアップデータの再生

USBメモリー/CD-R/DVD-R保存したデータをパソコンで再生することができます。

1 PC にコピーしたメディアを挿入する。

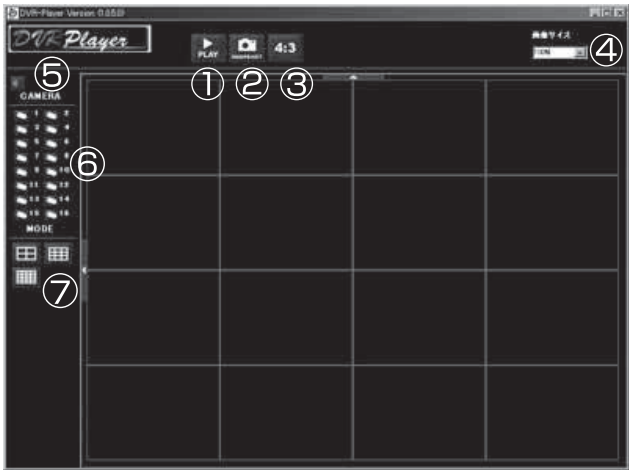
本体前面パネルにある USB メモリー挿入口に USB メモリーを挿入します。

2 再生ソフトを起動する。

記録メディアのフォルダ内にある【Player】フォルダを開き、中にある【DVR_Player(.exe)】を開きます。

※Windows Vista の場合は、マウス右クリック→【管理者として実行】を選び【許可】を選択します。

<< 再生ソフト >>



<< 再生ソフトの説明 >>

① PLAY
再生するファイルを開きます。

② SNAPSHOT
画像にしてデスクトップに保存。

③ 4：3
表示サイズ縦横比。※1 サイズのみ

④ 画像サイズ
サイズを 100%・56%・25%から選べます。

⑤ 音声ボタン…音の ON/OFF ボタン
スムーズ…動きを補正します
デフリッカ…強い光のふちを滑らかに補正します

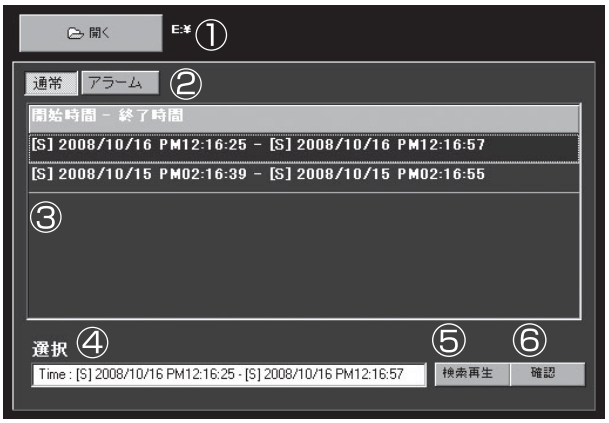
⑥ CAMERA1 ～ 16
再生中に押すと、選択したカメラ画像が全表示に切り替わります。

⑦ MODE
分割表示切換え。

3 再生するファイルを選択する。

再生ソフトの【PLAY】ボタンを押して、再生するファイルの選択画面を表示します。
再生するファイルを選択し、【検索再生】ボタンを押します。

<< ファイル選択画面 >>



<< ファイル選択画面の説明 >>

① 開く
再生するファイルを指定して開きます。

② 通常 / アラーム
通常 / アラーム録画されたデータを下に表示。

③ バックアップデータが表示されます。

④ 選択
選択しているデータが表示されます。

⑤ 検索再生
選択したデータの再生箇所を指定します。

⑥ 確認
選択したファイルの詳細を確認します。

バックアップデータの再生

4 ファイルの再生。

再生開始の時間やカメラのチャンネルを指定し
右上の【OK】ボタンを押すと再生が開始します。

<< ファイル選択画面 >>

<< ファイル選択画面の説明 >>

①ローカル再生

ファイルを直接指定します。

②確認

ファイルを直接指定して詳細を確認します。

③開始日時

再生を開始する日時を指定します。

④再生箇所選択スライドバー

再生を開始する場所をスライドバーで指定します。

⑤再生カメラ選択

再生するカメラを選択します。

⑥OK ボタン

上記で指定した箇所から再生を開始します。

⑦クローズボタン

再生をキャンセルし、通常画面に戻ります。

■再生中の各ボタンのはたらき

ボタン	動作内容
▶	再生終了時または一時停止中に再生を開始します。
▶▶	再生中：早送り（×2、×4、×8、×16、×32）。一時停止中：押すごとに 1 コマ進みます。
◀◀	再生中：巻戻し（×2、×4、×8、×16、×32）。一時停止中：押すごとに 1 コマ戻ります。
⏸	再生中に一時停止します。

ネットワーク接続による遠隔監視

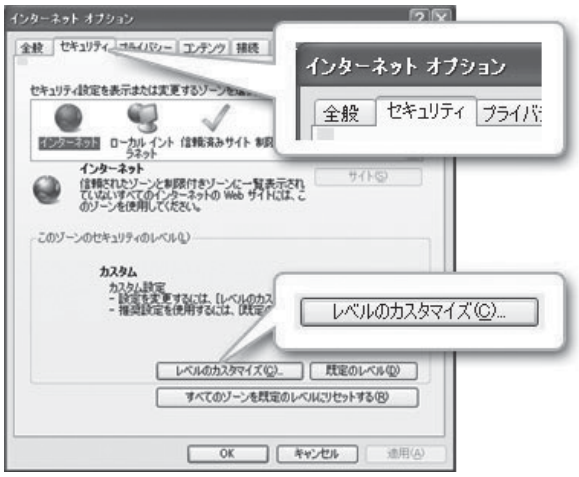
インターネットを経由してパソコン上から映像の閲覧、DVRの操作･設定ができます。

PC の初期設定（Active X の設定変更手順）

A PCでインターネットエクスプローラーを開く。
※バージョンの新しいものを利用してください。

B 「ツール」メニューから
「インターネットオプション」を選択。

C 「セキュリティ」タブをクリックしてウインドウを切り替え
画面下部「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



D ActiveXの項目を変更する。

ActiveXコントロールとプラグインの実行の項目を
【有効にする】に設定する

未署名のActiveXコントロールのダウンロードを
【ダイアログを表示する】に設定する

1 DVR に LAN ケーブルを接続する。

本体背面にある LAN ケーブル挿入口に LAN ケーブルを接続します。

2 IP アドレスの確認と設定。

メニュー→システム設定→LAN 設定から IP アドレスの確認と設定が可能です。P44 参照

3 PC で WEB ブラウザを開く。

開いた WEB ブラウザ（IE など）のアドレス入力欄に DVR に割り当てられている IP アドレスを入力します。

ご注意！

「Web ページを表示できません」というエラーが出る場合、インターネット回線でご利用中のモデム･ルータの設定（ポート開放）が必要です。ポート開放の設定に関してはモデムもしくはルータの取扱説明書をご確認ください。

ご注意！ ActiveX によるダウンロード

ActiveX ダウンロードの確認画面が表示されますので承諾してインストールしてください。
※必ず事前に左にある【ActiveX の設定変更手順】を参照の上パソコンの設定変更を行ってください。

インストール完了後、ログイン画面が表示。

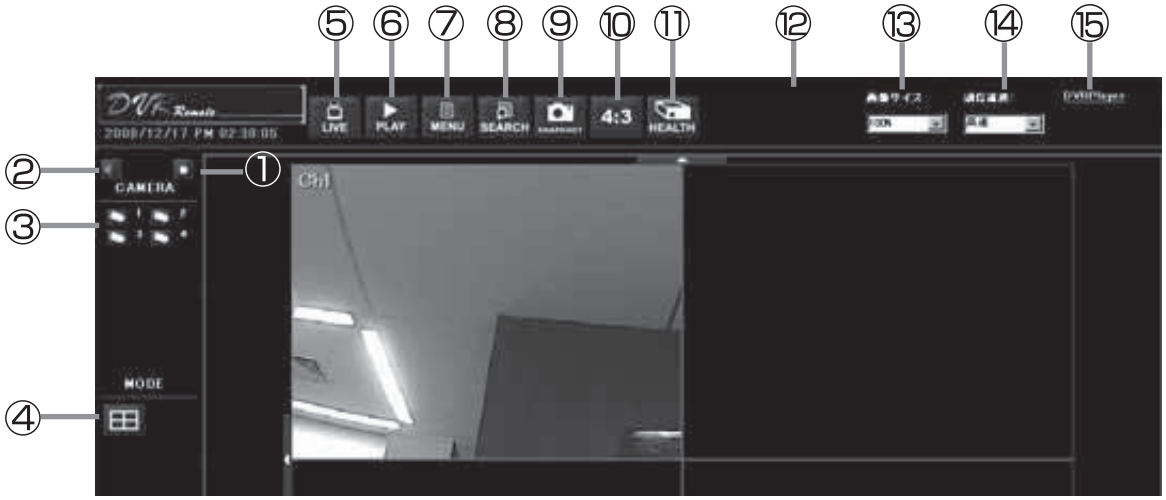
[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、OK ボタンを押すとメインページが表示されます。

初期パスワード

ユーザー名：admin　パスワード：1234

ネットワーク接続による遠隔監視

インターネット監視用ソフト【DVR_rimote】の使用方法



①	即時録画	⑨	スナップショット
②	音声　オン/オフ	⑩	4:3画面
③	カメラ選択	⑪	ハードディスクの使用状況
④	分割画面	⑫	再生の操作
⑤	ライブ映像	⑬	画面サイズ
⑥	検索再生	⑭	通信速度
⑦	メニュー	⑮	DVRプレイヤーダウンロード
⑧	アラーム履歴検索		

①即時録画
録画したい映像を即時にパソコンに保存します。
即時録画アイコンを押すとデータ保存の画面が出ますので、名前をつけて保存します。
録画を終了する際はもう一度即時録画アイコンを押すと録画を終了します。

②音声
ライブ中･録画したデータに音声がある場合、音声の再生を行います。
※DVRに音声入力機器を接続している必要があります。

③カメラ選択
選択すると、そのチャンネルがフル画面になります。

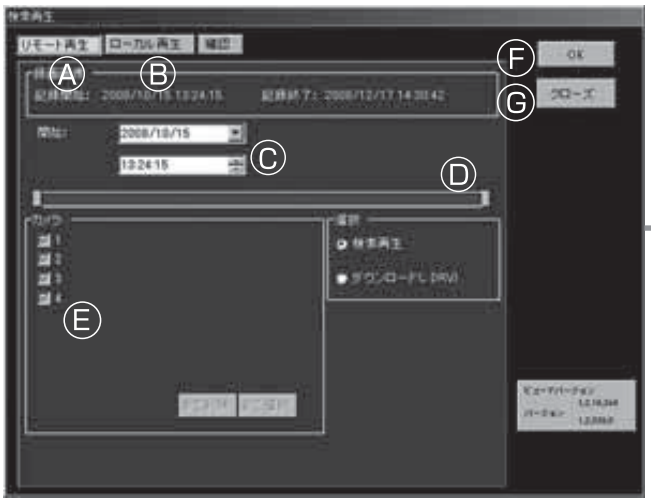
④分割画面
フル画面表示の際に押すと、分割表示になります。

⑤ライブ映像
録画データを表示してる際に押すと、ライブ映像に戻ります。

ネットワーク接続による遠隔監視

⑥検索再生

DVRもしくはパソコンに保存されている録画データを再生します。
※右上の【確認】ボタンは使用しません。



Ⓐ リモート再生
DVR に保存されているデータから指定します。

Ⓑ ローカル再生
パソコンに保存されているファイルを指定します。

Ⓒ 開始日時
再生を開始する日時を指定します。

Ⓓ 再生箇所選択コントロールバー
再生開始場所をコントロールバーで指定します。

Ⓔ 再生カメラ選択
再生するカメラを選択します。

Ⓕ OK ボタン
上記で指定した箇所から再生を開始します。

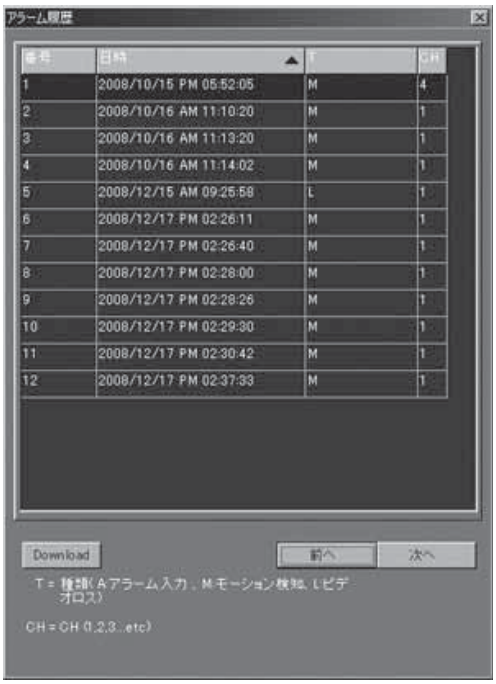
Ⓖ クローズボタン
再生をキャンセルし、通常画面に戻ります。

⑦メニュー

DVRの現在の設定の確認･変更が出来ます。
※閲覧用でログインしている場合、設定の変更は出来ません。

⑧アラーム履歴検索

アラームで録画されたデータから検索します。
再生したい履歴をマウス左ボタンで2回クリックすると再生します。
また、下にある【Download】を押すとデータを保存します。



ネットワーク接続による遠隔監視

⑨スナップショット
ライブ中･再生中の映像を画像（JPEG形式）として
デスクトップに保存します。
※保存先の変更は出来ません。

⑩4:3画面
画面を4:3の比率で表示します。
もう一度押すと通常サイズに戻ります。

⑪ハードディスクの使用状況
ハードディスクの使用状況の確認が出来ます。

⑫再生の操作
再生時に、下アイコンが表示されます。

ボタン	動作内容
▶	再生終了時または一時停止中に再生を開始します。
▶▶	再生中：早送り（×2、×4、×8、×16、×32）。一時停止中：押すごとに 1 コマ進みます。
◀◀	再生中：巻戻し（×2、×4、×8、×16、×32）。一時停止中：押すごとに 1 コマ戻ります。
⏸	再生中に一時停止します。

⑬画像サイズ
画像サイズの調整が出来ます。
自由に入力し変更が出来ます。

⑭通信速度
高速、低速の2つから通信速度を選べます。

⑮DVRプレイヤーダウンロード
DVRからエクスポートした画像は【.dvr】データになります。
インターネット接続せずに再生することが可能です。

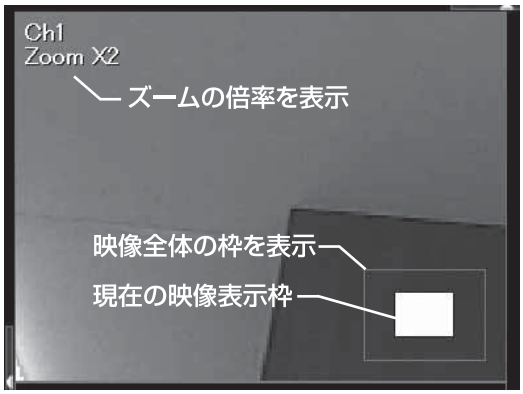
ネットワーク接続による遠隔監視

デジタルズームの操作

ライブ映像･録画映像を最大7倍までデジタルズームすることが出来ます。
映像をマウス右クリックし、ホイールを前に回転させると大きくなり、後ろに回転させると小さくなります。

また、拡大した状態で画面をマウス右クリックしたまま動かすと動かした方向に映像も移動します。
※右下に全体の枠、表示している範囲が表示されます。

■デジタルズームの映像



PTZ（パンチルトズーム）カメラの操作

PTZカメラを接続している場合、遠隔地から操作することが可能です。
PTZを接続しているカメラチャンネルを選択すると、次の操作メニューが表示されます。

① A.F【Auto Focus】
自動で撮影対象物にピントを合わせます。

② Set Preset Point
プリセットポイントの設定が出来ます。

③ Go Preset Point
設定したプリセットに移動します。

④ ID
カメラIDとプロトコルの設定が出来ます。

⑤ Focus
+/ーのボタン操作でフォーカスの調整をします。

⑥ IRIS
+/ーのボタン操作でアイリスの調整をします。

⑦ Zoom
+/ーのボタン操作でズームの調整をします。

⑧ 方向キー
上下左右にカメラを動かすことが出来ます。

PTZ（パンチルトズーム）カメラの設定・コントロール

PTZカメラの設定方法

① PTZカメラのプロトコルを設定します。

1.カメラ設定メニューで【カメラ選択】を選択し、【スピードドームカメラが接続されているチャンネル】を選びます。
2.カメラプロトコルを接続したPTZカメラのプロトコルに設定します。
※<DYNACOLOR DSCP>、<Pelco D>、<Pelco P>、<AD422>、<Fastrax2><JVC>、<Pansonic>、<なし（デフォルト）>の8種類があります。
3.設定を終了します。

② RS485を設定します。

1.システム設定メニューで【RS-485設定】を選択します。
2.ユニットIDを接続したPTZカメラのIDと同じ設定にします。
3.設定を終了します。以上で設定は完了です。

PTZカメラコントロール方法

1.ライブモード中にコントロールするPTZカメラのチャンネル番号を押して全画面表示に切り替えます。

2.【PTZ】ボタンを押して、カメラコントロールモードに入り、以下のボタンで操作を行います。
※カメラの操作説明を非表示にする場合はチャンネル番号【2】を押します。

PTZカメラコントロールモードでは、以下のボタン操作が可能です。

○PTZボタン、戻るボタン
このボタンを押すと、PTZカメラコントロールモードを終了します。

○全画面/分割ボタン、再生/停止ボタン
このボタンを押すとアイリスを開く/閉じるの操作が可能です。

○一時停止ボタン、自動巡回ボタン
このボタンを押すと、フォーカスを調整（遠く/近く）の操作が可能です。

○決定ボタン
このボタンを押すと、オートフォーカス/オートアイリスの操作が可能です。

○CH1ボタン
このボタンを押すとプリセットの登録、操作が可能です。

○CH2ボタン
操作説明の表示/非表示を行います。

○左/右ボタン
パン操作

○上/下ボタン
チルト操作

PTZ（パンチルトズーム）カメラの設定・コントロール

PTZカメラをコントローラー無しでプリセットの登録･操作が可能です。
※プリセットの個数はPTZカメラの仕様によって異なります。

プリセットの登録方法

1.PTZカメラの接続されたチャンネルを全画面表示にした状態で【PTZ】ボタンを押し、PTZコントロールモードに入ります。

2.チャンネル1のボタンを押すと次のように表示されます。

プリセット登録/操作

NO.	プリセット登録	プリセット操作
1	いいえ	いいえ
2	いいえ	いいえ
3	いいえ	いいえ
4	いいえ	いいえ
5	いいえ	いいえ
6	いいえ	いいえ
7	いいえ	いいえ
8	いいえ	いいえ
9	いいえ	いいえ

3.上下方向ボタンで表示されたリストから任意のNO.を選択します。

4.プリセット登録を選択後、設定値を【はい】に切り替え、【決定】ボタンを押し、設定を保存します。
以上でプリセットの登録は完了です。

プリセットの実行方法

1.PTZカメラの接続されたチャンネルを全画面表示にした状態で【PTZ】ボタンを押し、PTZコントロールモードに入ります。

2.チャンネル1のボタンを押すと次のように表示されます。

プリセット登録/操作

NO.	プリセット登録	プリセット操作
1	いいえ	いいえ
2	いいえ	いいえ
3	いいえ	いいえ
4	いいえ	いいえ
5	いいえ	いいえ
6	いいえ	いいえ
7	いいえ	いいえ
8	いいえ	いいえ
9	いいえ	いいえ

3.上下方向ボタンでリストから操作したいプリセットNO.を選択します。

4.プリセット操作を選択後、設定値を【はい】にして【決定】ボタンを押すとプリセットが実行されます。

メニュー構成の設定とはたらき

ここからはメニュー設定の構成と働きについてご説明していきます。

パスワードの入力 (P12)

① システム設定 (P39)
日時やネットワーク等の設定を行います。

② モニター設定 (P47)
表示内容･表示サイズ等の設定を行います。

③ カメラ設定 (P48)
カメラの設定を行います。

④ 記録設定 (P50)
タイマー・録画画質等の設定を行います。

⑤ 自動切換設定 (P54)
自動巡回モードの設定を行います。

⑥ アラーム設定 (P55)
アラーム録画の設定を行います。

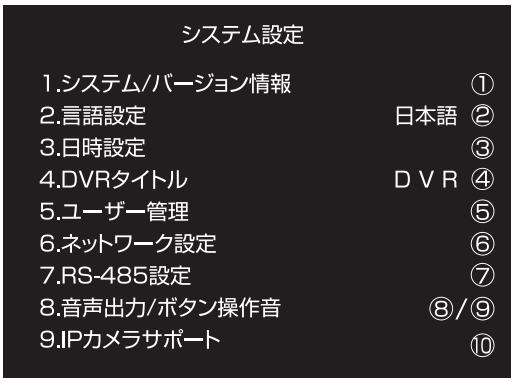
⑦ ハードディスク設定 (P57)
ハードディスクの設定を行います。

⑧ メニュー設定初期化 / コピー (P58)
メニュー設定の初期化･コピーを行います。

⑨ シャットダウン (P59)
電源オフ / 再起動を行います。

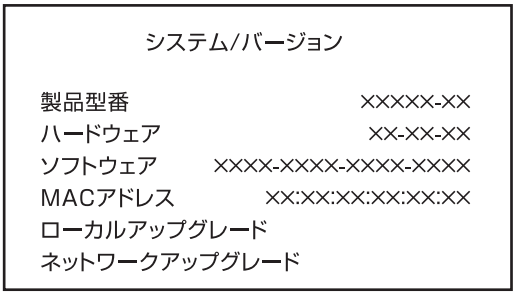
システム設定 システム/バージョン情報 / 言語設定 / 日時設定

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押して、メニューを表示します。
※IDとパスワードの入力画面が表示された場合は入力してください。(P12)



①システム/バージョン情報

システムのハードウェアのバージョンなどのシステム情報を確認できます。システム設定メニューで【システム/バージョン】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



製品型番
製品モデル番号が表示されます。
※機器のシリアル番号は本体底部に貼られています。

ハードウェア
本体のハードウェアのバージョンが表示されます。

ソフトウェア
本体のソフトウェアのバージョンが表示されます。

MACアドレス
本体のMACアドレスが表示されます。

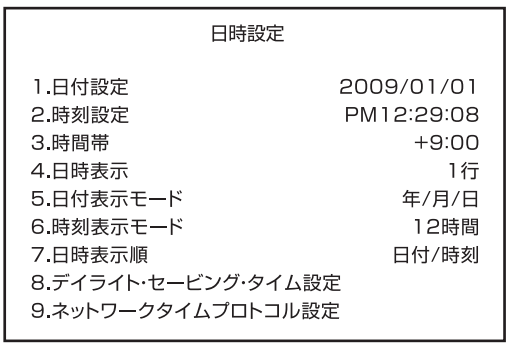
ローカルアップグレード
ソフトウェアをローカルデバイスでアップロードが可能です。

②言語設定

表示言語の設定を行います。
システム設定メニューで【言語設定】を選択し、【決定】を押すと点滅します。その状態で上下カーソルを動かし、希望する言語にして【決定】を押すと変更します。
※初期設定では日本語になっています。

③日時設定

日付・時間やそれに関連する設定を行います。
設定方法はP14を参照ください。



システム設定

8.デイライト･セービング･タイム設定
サマータイム（夏時間）を設定します。
日時設定メニューで【デイライト･セービング･タイム設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

デイライト･セービング･タイム設定	
1.サマータイム	オン
2.サマータイム開始	4月、 1週目 日曜日 02:00
3.サマータイム終了	10月、最終週 日曜日 02:00
4.サマータイム時差	60分

1.サマータイム
サマータイムの設定【オン】【オフ】から設定します。
デイライト･セービング･タイム設定メニューで
【サマータイム】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定に
して【決定】を押すと変更します。

2.3.サマータイム開始/サマータイム終了
サマータイム（夏時間）の開始･終了期間を設定します。
デイライト･セービング･タイム設定メニューで【サマータイム開始･終了】を選択し、左右ボタンで変更する項目に
カーソルを合わせ【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。

4.サマータイム時差
サマータイム（夏時間）時の通常時間との時差を【30分】【60分】【90分】から設定します。
デイライト･セービング･タイム設定メニューで【サマータイム時差】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。

9.ネットワークタイムプロトコル設定
機器の時刻を正確に保持できるように同期するときに使うインターネットプロトコルを設定します。
※設定の際は、時間帯の設定を+9:00にしておく必要があります。

ネットワークプロトコル設定	
1.NTPサーバー	time.nist.gov
2.時間自動同期化	オン
3.時間手動同期化	いいえ

1.NTPサーバー
初期のNTPサーバーは【time.nist.gov】ですが、下記のIPアドレスでも設定することができます

129.6.15.28	128.138.140.44	208.184.49.9
129.6.15.29	192.43.244.18	64.125.78.85
132.163.4.101	131.107.1.10	207.200.81.113
132.163.4.102	69.25.96.13	64.236.96.53
132.163.4.103	206.246.118.250	68.216.79.113

2.時間自動同期化
「オン」を選択すると、自動的に一時間毎に、時間を同期します。

3.時間手動同期化
時間の同期をしたい時に「はい」を選択します。

システム設定 DVRタイトル / ユーザー管理

④DVRタイトル

DVRに名前をつけることが出来ます。
複数のDVRを1つのモニターで管理する際に便利な機能です。
システム設定メニューで【DVRタイトル】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

設定方法

1.上下左右方向ボタンでカーソルを移動し、文字を選択します。

2.次に【決定】を押すと入力区域内にその文字が追加されます。 ※最大文字数は11文字まで

3.入力完了後、カーソルを【OK】に移動し【決定】を押すと確定します。

⑤ユーザー管理

DVRの操作権限管理の設定を行います。
管理者用(設定の変更可)と使用者用(設定の変更不可)の2種類設定することが可能です。
システム設定メニューで【ユーザー管理】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

1.パスワード保護

パスワード保護の設定をします。
「パスワードの保護」を選択し、【決定】ボタンを押すと、項目が点滅します。
上下ボタンで設定後、【決定】ボタンを押してください。
※「オン」を選択すると、設定メニューに入る際、また、ボタン操作の際、ユーザー名とパスワードの入力が必要で、「オフ」を選択すると入力が不要になります。

ユーザー管理

1.パスワード保護	
2.アカウント設定	
3.権限設定	オン
4.初期設定ロード	なし

2.アカウント設定

「アカウント設定」を選択し、【決定】ボタンを押すと次のように表示されます。

admin(管理者)のユーザー名は変更できません。
user(ユーザー)、user2からuser7まで、ユーザー名が変更できます。
ユーザー名は14文字までアルファベットでの設定ができます。ユーザー名の変更を選択し、【決定】ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

アカウント設定

アカウント	ユーザー名	パスワード	権限
admin	変更	変更	レベル8
user	変更	変更	レベル4
user2	変更	変更	無効
user3	変更	変更	無効
user4	変更	変更	無効
user5	変更	変更	無効
user6	変更	変更	無効
user7	変更	変更	無効

システム設定 ユーザー管理

設定方法

1.上下左右方向ボタンでカーソルを移動し、文字を選択します。

2.次に【決定】を押すと入力区域内にその文字が追加されます。
※最大文字数は11文字まで

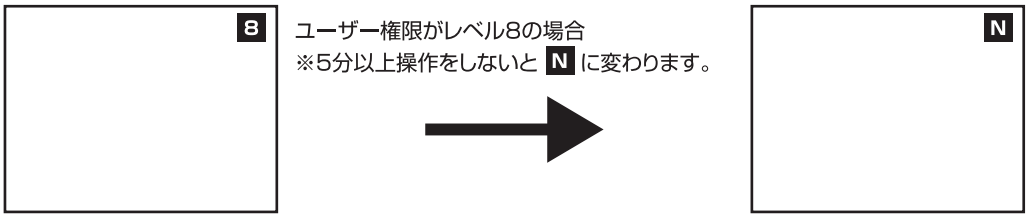
3.入力完了後、カーソルを【OK】に移動し【決定】を押すと確定。

adminのデフォルドのパスワードは1234、userは4321です。adminとuserを含め、すべてアカウントのパスワードの変更ができます。パスワードの変更を選択し、【決定】ボタンを押すと、再度パスワードの入力を促すページが表示されますので、同じパスワードを入力して変更完了です。

権限の設定について

権限は1～8のレベルで設定出来ます。レベル8は権限が一番高く、レベル1は権限が一番低くなります。adminの権限レベルは8になり、変更ができません。userからuser7のレベル変更ができます。
※権限の内容については次項の『権限設定』で設定します。

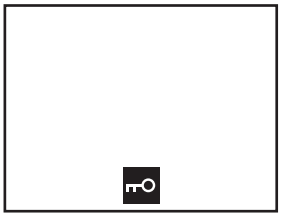
1)のパスワード保護がオンの場合、メニューとボタン操作の時、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。入力し、各設定に入る時、また録画画面に戻す時、次の画面のようにそのアカウントの権限のレベルがモニターの右上に表示されます。※5分以上操作をしないと、右上にNと表示され、次回操作時にはユーザー名とパスワードの入力が必要になります。また【戻る】ボタンを長押し(約2秒)すると「N」表示になり、権限レベルが無効になります。



キーロックについて

パスワード保護をオフにした場合、【戻る】ボタンを長押し(約5秒)すると、キーロックがかかり、画面下部に鍵マークが表示されます。

ロックがかかると【PTZ】、【検索】、【メニュー】、【再生／停止】のボタン操作ができなくなります。ロックを解除する時は、再度、【戻る】ボタンを長押ししてください。
※システム設定⇒5.ユーザー管理⇒1.パスワード保護で「オン」にした場合は、本機能は無効になります。



システム設定 ユーザー管理

3.権限設定

DVRの各機能をレベル1から8まで、及び無効に設定することができ、アカウント設定のレベルに合わせて、どのユーザーにどこまでの機能操作の権限を与えるかを設定できます。
レベルは8から1、無効という設定ができます。レベル8は権限が一番高く、1は権限が一番低くなります。また「無効」は権限なしという設定です。但し、「メニュー操作」という操作項目のみ無効の選択が出来ません。

右図にある項目を、それぞれ権限レベル1～8で設定することができます。
権限レベルを設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押すと、項目が点滅します。
上下ボタンで権限レベルを選択し、【決定】ボタンを押すと設定完了です。

FIRST PAGE

項目	権限
再生･検索	無効
PTZカメラ操作	無効
データバックアップ	無効
メニュー操作	レベル4
システム設定	レベル8
モニター設定	レベル8
カメラ設定	レベル8
記録設定	レベル8
自動切換設定	レベル8
アラーム設定	レベル8
ハードディスク設定	レベル8
メニュー設定初期化/コピー	レベル8
シャットダウン	レベル8

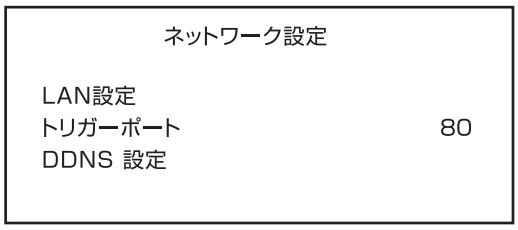
4.初期設定ロード

アカウント設定と権限設定の初期化を実行します。
「初期設定ロード」を選択し、【決定】ボタンを押すと、項目が点滅します。
上下ボタンで「はい」を選択し【決定】ボタンを押すと、画面が次のように表示されます。どれかボタンを押すと、元の画面に戻ります。

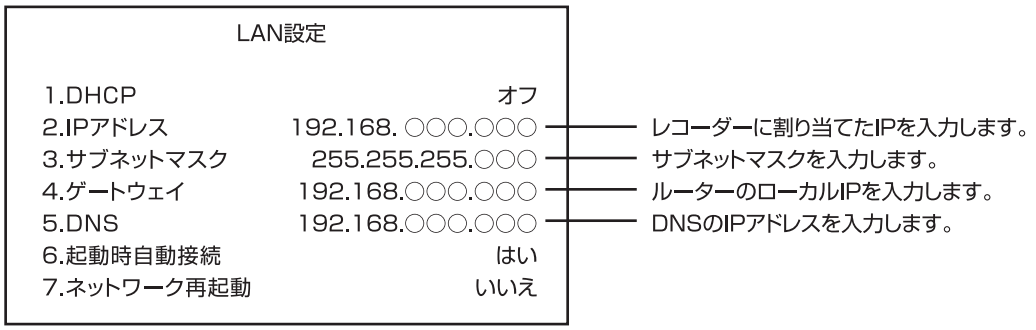
システム設定 ネットワーク設定

⑥ネットワーク設定

ネットワークを利用し、遠隔地からPCで映像を見る為の設定を行います。
システム設定メニューで【ネットワーク設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



○LAN設定
ネットワーク環境を設定します。
ネットワーク設定メニューで【LAN設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



1.DHCP
システム起動と同時に、DHCPサーバからIPアドレスを自動取得し、利用することが出来ます。
固定IPアドレスを割り当てる場合は、設定を【オフ】にして下さい。
※設定が【オフ】でないとIPアドレスを変更する操作が出来ません。

2.3.4.5.IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS
IP(インターネットプロトコル)アドレスをDVRに割り当てる設定を行います。
左右ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。

※注意事項※
IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS情報が不明な場合は固定IPを取得したプロバイダにご確認ください。

6.起動時自動接続
【はい】…本体に電源が入ると同時に自動的にネットワークに接続します。
【いいえ】…ネットワークに接続しません。

7.ネットワーク再起動
ネットワークの設定を変更した場合、変更を反映するために本体を再起動する必要があります。
【はい】を選択後、【決定】を押すと再起動を行い、変更されたネットワーク設定が有効になります。

システム設定 ネットワーク設定

○トリガーポート

初期値の設定ポート（Port80）が使用できない場合、この項目でポートの変更を行います。
カーソルを合わせた状態で【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。
※ポートを変更する場合はプロバイダもしくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

○DDNS設定

DDNS（ダイナミックドメインネームシステム）の設定をすると、変動IPでもDVRに割り当てられたIPの確認･PC監視ソフトでの設定変更を行わなくてもネットワーク監視を行うことができる機能です。
※DDNSの設定はPCに詳しい方でないと設定が難しい為、サポート対象外となります。
ネットワーク設定メニューで【LAN設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

DDNS設定	
1.DDNS有効	オン
2.ホスト名	
3.DDNSポート	0
4.IPアドレス更新	いいえ
5.簡易DDNS設定	いいえ

1.DDNS有効
DDNSを使用するかしないかを設定します。
使用する場合は【オン】を設定します。
※DHCPの設定が【オン】でないとDDNSは有効になりません。

2.ホスト名
ドメイン名を設定します。
リモート側のPCからネットワークを通じて本体にアクセスする際に必要です。
ホスト名を選択した状態で【決定】を押すと次のように表示されます。

設定方法

1.上下左右方向ボタンでカーソルを移動し、文字を選択します。

2.次に【決定】を押すと入力区域内にその文字が追加されます。

3.入力完了後、カーソルを【OK】に移動し【決定】を押すと確定します。

3.DDNSポート
DDNSで使用するポートを設定します。

4.IPアドレス更新
上記で入力した設定をネットワークを通じて反映します。
【IPアドレス更新】にカーソルを合わせ【決定】を押し【はい】を選択後、【決定】を押すと設定が完了します。

5.簡易DDNS
簡易DDNSは自動的にホストネーム（ドメイン名）の登録をすることができます。

システム設定 RS-485設定 / 音声出力 / ボタン操作音

⑦RS-485設定

PTZ（パンチルトズーム）カメラをコントロールする際に設定します。
システム設定メニューで【RS-485設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

RS485設定	
1.ユニットID	224
2.通信速度	9600
3.データビット数	8
4.ストップビット	1
5.バリティビット	なし

1.ユニットID
PTZカメラで設定したユニットIDと同じ番号を設定します。
初期値は224です。ユニットIDは1～255まで使用できます。

2.通信速度…PTZカメラと通信する速度を設定します。

3.データビット数…データのビット数を設定します。

4.ストップビット…ストップビット数を設定します。

5.バリティビット…バリティビットの有り無しを設定します。

⑧音声出力

音声の出力方法を設定します。
システム設定メニューで【音声出力】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。

【ライブ/再生】

ライブ時はライブ時の音声、再生時は再生時の音声が出力されます。

【ライブ】

ライブ時も再生時も、ライブ時の音声が出力されます。

【オフ】

ライブ時も再生時も音声は出力されません。

⑨ボタン操作音

ボタンを押した際に、音を出すか出さないかを設定します。
システム設定メニューで【ボタン操作音】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。
有音に設定するには【オン】、無音に設定するには【オフ】を設定します。

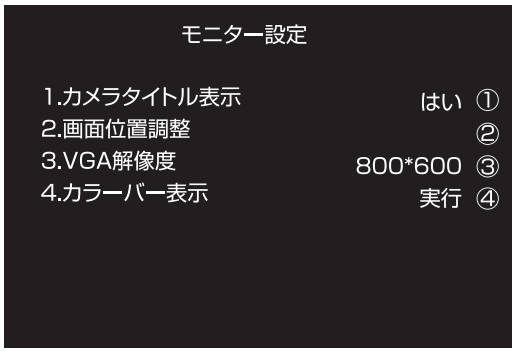
⑨分割音声再生

分割画面音声を設定します。
分割音声再生を有効にすると、分割画面でも選択されたチャンネルの音声の再生が出来ます。
無効にした場合は、全画面表示時のみ録音された音声の再生が出来ます。

⑩IPカメラサポート

本機では使用しません。

モニター設定 カメラタイトル表示 / 画面センター調整 / カラーバー設定 / VGA解像度

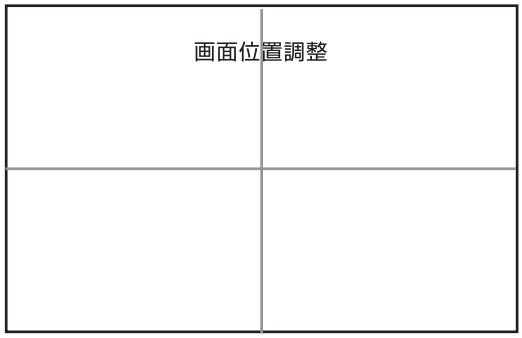


①カメラタイトル表示

画面上にカメラタイトルの表示、非表示の設定を行います。
モニター設定メニューで【カメラタイトル表示】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。

②画面位置調整

画面上の映像表示位置の調整を行います。
モニター設定メニューで【画面位置調整】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



設定方法

【上下左右】ボタンを使用して画面中心に映像がくるように調整してください。
調整後、【決定】ボタンを押すと設定が有効になります。

③VGA解像度

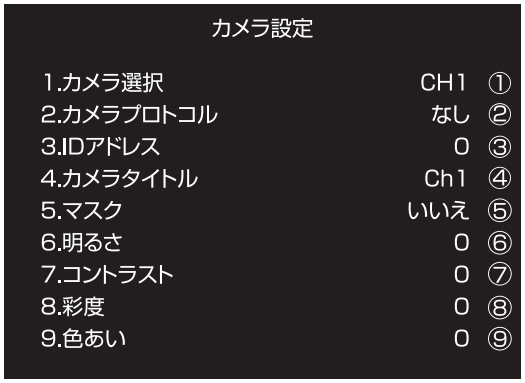
本体にVGAモニターを接続した場合、VGA解像度を以下より選択することができます。
モニター設定メニューで【VGA解像度】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。

【800×600】、【1024×768】、【1280×1024】の3通りから選択します。
※選択したVGA解像度の設定値が接続されたモニターより高い場合は、画面上に"No Signal"と表示され、設定することが出来ませんのでご注意ください。

④カラーバー表示

画面上にカラーバーを表示します。
表示されたカラーバーでモニターの色味を調節･設定します。
※調整･設定についてはモニターの取扱説明書をご確認ください。

カメラ設定 カメラ選択 / カメラプロトコル / IDアドレス / カメラタイトル



①カメラ選択

設定を変更するカメラが接続されているチャンネル1～4を選択します。
カメラ設定メニューで【カメラ選択】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、設定するチャンネルにして【決定】を押すと選択します。

②カメラプロトコル

カメラの通信プロトコルを設定します。
カメラ設定メニューで【カメラプロトコル】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。
※PTZ（パンチルトズーム）カメラのみ設定が必要です。
※カメラプロトコルは[Digiplex-422]/[Impac-485]/[Panasonic]/[JVC]/[Molynx]/[Fastrax-2]
[Pelco P]/[Pelco D]/[AD422]/[DSCP]の10種類があります。

③IDアドレス

接続されたカメラのID番号を設定します。
カメラ設定メニューで【IPアドレス】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと変更します。
※PTZ（パンチルトズーム）カメラのみ設定が必要です。
※PTZカメラに設定したIDと同じものを入力してください。

④カメラタイトル

接続している各カメラを区別するためにカメラにタイトルを設定します。
カメラ設定メニューで【カメラタイトル】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

設定方法

1.上下左右方向ボタンでカーソルを移動し、文字を選択します。

2.次に【決定】を押すと入力区域内にその文字が追加されます。 ※最大文字数は11文字まで

3.入力完了後、カーソルを【OK】に移動し【決定】を押すと確定します。

カメラ設定 マスク / 明るさ / コントラスト / 彩度 / 色あい

⑤マスク

カメラの映像をモニター上で非表示にします。
※モニターに映像が表示されなくなりますが、録画は通常通り行います。
カメラ設定メニューで【マスク】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

⑥明るさ

モニター上に表示される映像の明るさを調整します。
カメラ設定メニューで【明るさ】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

⑦コントラスト

モニター上に表示される映像のコントラストを調整します。
カメラ設定メニューで【コントラスト】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

⑧彩度

モニター上に表示される映像の彩度を調整します。
カメラ設定メニューで【彩度】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

⑨色あい

モニター上に表示される映像の色あいを調整します。
カメラ設定メニューで【色あい】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

記録設定 録画方式設定 / タイマー設定

記録設定		
1.録画方式設定		①
2.タイマー設定		②
3.記録方式	準高画質	③
4.プログラム記録設定	ON	④
5.簡易記録設定		⑤
6.上書き記録	オン	⑥
7.音声記録	オン	⑦
8.データ消去		⑧

①録画方式設定

録画する映像のサイズを設定します。
記録設定メニューで【録画方式設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

録画方式設定		
1.録画解像度	720*240	録画画面サイズ
2.録画方式	H264	圧縮方式
3.最大録画コマ数	60	1秒間のコマ数

設定の変更について

上の画面上で【1.録画解像度】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押します。
次に、【戻る】を押すと画面に『警告!システム再起動』と表示されますので、【決定】を押して再起動します。

※録画サイズは【720*480】【720*240】【352*240】から選べます。
※2.3.は1と連動し自動で変わります。
※コマ数はカメラの接続台数に関わらず、カメラ4台分で均等に割られます。
接続カメラ3台以下で、高いコマ数での録画を行う場合は簡易記録をご利用ください。

②タイマー設定

録画する時刻を【タイマー1/タイマー2/週末の時間帯】から設定します。
記録設定メニューで【タイマー設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

タイマー設定		
1.タイマー1開始時刻		AM06:00
2.タイマー1終了時刻		PM06:00
3.タイマー2開始時刻		PM06:00
4.タイマー2終了時刻		AM06:00
5.週末記録		オン
6.週末記録開始時刻	土曜日	PM04:00
7.週末記録終了時刻	日曜日	AM03:00

設定方法

タイマー1.2.週末記録の開始·終了時刻を設定します。
タイマー設定メニューでそれぞれを選択し、左右ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。

※初期設定では24時間録画を行う設定になっております。

記録設定 記録方式

③記録方式

録画する映像の画質を設定します。
記録設定メニューで【記録方式】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

記録方式の種類

○最高画質…最高画質で録画します。
○標準画質…標準画質で録画します。
○低画質…低画質で録画します。
○アラームのみ…アラーム検知した際にのみ録画します。※通常録画は行いません。
○簡易記録…録画日数により画質が変動します。
○512kbps DSL…インターネット監視向け、転送速度を優先した記録方式です。
○256kbps DSL…インターネット監視向け、転送速度と画質を両立した記録方式です。
○128kbps DSL…インターネット監視向け、画質を優先した記録方式です。
○プログラム記録…カメラごとに記録方式を設定できます。

④プログラム記録設定

上記の記録方式で【プログラム記録設定】を選択していると設定ができます。
記録設定メニューで【プログラム記録設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

プログラム記録設定

カメラ選択			CH1
	タイマー1	タイマー2	週末記録
通常記録レート	30	30	30
通常記録画質	最高画質	最高画質	最高画質
アラーム記録レート	30	30	30
アラーム記録画質	最高画質	最高画質	最高画質
アラームトリガー	両方	両方	両方

設定方法

1.設定変更を行うカメラを選択します。
※選択する際は、本体にある1～4チャンネルボタンを押します。
2.上下左右ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。

○記録レート
1秒間の録画コマ数の設定をします。

○記録画質
記録する画質を【最高画質 / 高画質 / 準高画質 / 標準 / 低画質】から設定します。

○アラーム記録レート
アラーム･モーション時での1秒間の録画コマ数の設定をします。

○アラーム記録画質
アラーム･モーション時での記録する画質を【最高画質 / 高画質 / 準高画質 / 標準 / 低画質】から設定します。

○アラームトリガー
アラーム録画の録画条件を【両方 / アラーム / モーション / なし】から設定します。

注意事項

プログラム記録設定ではカメラ1台ごとに設定を行います。
ですので記録レート(コマ数)は1台分のコマ数で入力してください。
※設定したコマ数のトータルがオーバーしている場合は自動的に調整されます。

記録設定 簡易記録設定 / 上書き記録 / データ消去

⑤簡易記録設定

画質などの詳細な設定は行わず、データ保存日数で記録設定を実行します。
記録設定メニューで【簡易記録設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。
※設定を行うには記録方式で【簡易記録】を選択している必要があります。
※設定にはカメラを接続している必要があります。

簡易記録設定

記録日数	1日
タイマー1	はい
タイマー2	はい
週末記録	はい
ーーーーーーーー 記録情報 ーーーーーーーー	
通常記録レート(カメラ毎)	15
通常記録画質	高画質

設定方法

上下左右ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ
【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで
設定します。
最後に【決定】を押すと変更が確定します。

○記録日数
録画データを保存しておく日数を設定します。※日数が多くなるのに比例して画質･コマ数は低くなります。

○タイマー1
タイマー1の録画設定をそれぞれ有効にする、しないを設定します。

○タイマー2
タイマー2の録画設定をそれぞれ有効にする、しないを設定します。

○週末記録
週末記録の録画設定をそれぞれ有効にする、しないを設定します。

⑥上書き記録

記録されたデータを自動で上書きする、しないの設定を行います。
記録設定メニューで【上書き記録】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。
※初期設定は【オン】です。

⑦音声記録

音声の録音をする、しないの設定を行います。
記録設定メニューで【音声記録】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。
※初期値は【オン】です。

記録設定 データ消去

⑧データ消去

録画データの消去を実行します。
記録設定メニューで【データ消去】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

データ消去	
1.全データ消去	いいえ
2.アラーム記録データ消去	いいえ
3.アラーム記録データ期間消去	2000/01/01
4.消去開始	いいえ

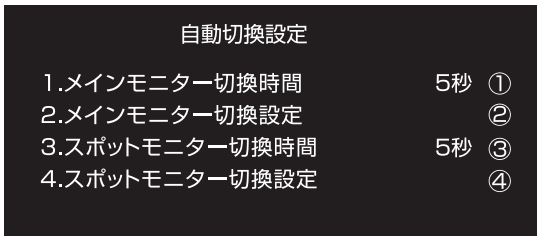
1.全データ消去
通常方式で録画したデータを消去します。

2.アラーム記録データ消去
アラームで録画したデータを消去します。

3.アラーム記録データ期間消去
年月日で指定し、指定した以前のデータを消去します。

4.消去開始
1～3で設定した方法でデータを消去します。
左右ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ
【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで
設定します。
最後に【決定】を押すと消去が開始します。

自動切換設定

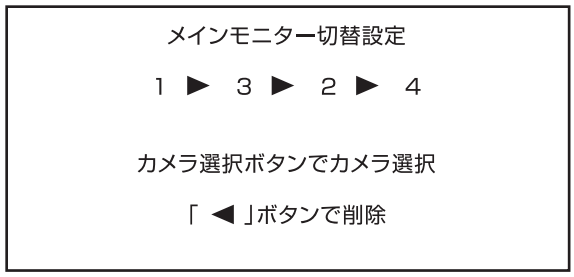


①メインモニター切換時間

自動巡回モード時の表示秒数を設定します。
自動切換設定メニューで【メインモニター切換時間】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する秒数にして【決定】を押すと確定します。
※本体の【自動巡回】ボタンを押すと自動巡回モードになり、もう一度押すと、通常監視に戻ります。

②メインモニター切換設定

自動巡回モード時の表示切換の順番を設定します。
自動切換設定メニューで【メインモニター切換設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



設定方法

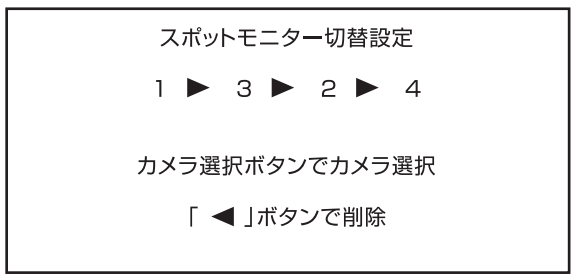
表示を切り換える順番に本体にある【カメラ1～4】ボタンを入力します。最後に【決定】を押すと設定が確定します。
※修正や、設定を変更する際は【◄】ボタンで削除します。
※同じカメラを2回以上指定することは出来ません。

③スポットモニター切換時間

自動巡回モード時の表示秒数を設定します。
自動切換設定メニューで【スポットモニター切換時間】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する秒数にして【決定】を押すと確定します。
※本体の【自動巡回】ボタンを押すと自動巡回モードになり、もう一度押すと、通常監視に戻ります。

④スポットモニター切換設定

自動巡回モード時の表示切換の順番を設定します。
自動切換設定メニューで【スポットモニター切換設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



設定方法

表示を切り換える順番に本体にある【カメラ1～4】ボタンを入力します。最後に【決定】を押すと設定が確定します。
※修正や、設定を変更する際は【◄】ボタンで削除します。
※同じカメラを2回以上指定することは出来ません。

アラーム設定

アラーム設定		
1.ブザー	オン	①
2.アラームアイコン表示	オン	②
3.アラーム記録時間	20秒	③
4.チャンネル別設定		④

①ブザー

イベント発生時のブザー音を設定します。
アラーム設定メニューで【ブザー】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

②アラームアイコン表示

イベント発生時、画面上にイベントアイコンを表示する/しないを設定します。
アラーム設定メニューで【アラームアイコン表示】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

③アラーム記録時間

イベント発生時、アラーム録画する時間を5～999秒の範囲で設定します。
アラーム設定メニューで【アラーム記録時間】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する数値にして【決定】を押すと確定します。

④チャンネル別設定

各カメラごとにアラーム記録の設定を行います。
アラーム設定メニューで【チャンネル別設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

チャンネル別設定	
1.チャンネル選択	CH1
2.ビデオロス検知	オフ
3.動き検知	オフ
4.動き検知表示	オフ
5.動き検知設定	
6.アラーム入力	オフ
7.アラーム出力	オフ

設定方法

1.チャンネル選択
設定を行うカメラを選択します。
上下ボタンで変更する項目にカーソルを合わせ
【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで
設定するカメラチャンネル数を選択します。
最後に【決定】を押すと確定します。
※本体にあるカメラ1～4ボタンで選択することも出来ます。

2.ビデオロス検知
断線等によりカメラからの映像信号が途切れた際にアラーム音を鳴らす/鳴らさないの設定を行います。
アラーム設定メニューで【ビデオロス検知】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

3.動き検知
動き検知機能を設定します。
アラーム設定メニューで【動き検知】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。
※動き検知録画のみを行う場合は【記録設定】内の【記録方式】を【アラームのみ】に設定する必要があります。

アラーム設定

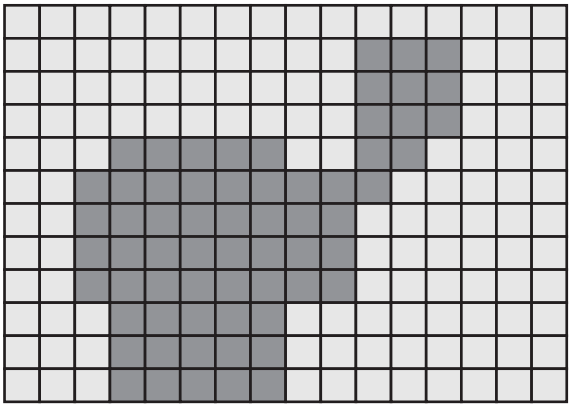
4.動き検知表示
動き検知設定をしている際に、動きがあった箇所に格子を表示する/しないの設定を行います。
アラーム設定メニューで【動き検知表示】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

5.動き検知設定
動き検知の検知エリアや感度などを設定します。
チャンネル別設定メニューで【動き検知設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。

動き検知設定	
検知エリア設定	
感度	88%
ブロックしきい値	6%

○検知エリア設定
検知エリアをする枠の設定を行います。
動き検知設定メニューで【検知エリア設定】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。
上下左右カーソルで1マスづつ動かし、【決定】を押すと色が変わります。
【全画面/分割】ボタンで一括で変更することができます。
設定後は【戻る】を押すと前のページに戻ります。

赤…検知するエリア　透明…検知しないエリア



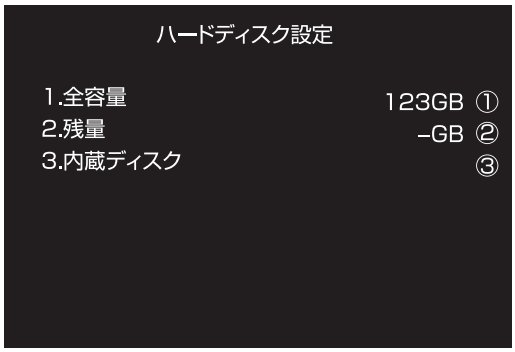
○感度
動きを検知する感度を0%～100%の範囲で設定します。
動き検知設定メニューで【感度】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。
※値が高くなるほど感度が高くなります。

○ブロックしきい値
検知エリア設定にあるマス目がいくつ以上で動きを検知した際に、アラームを起動させるかを設定します。
動き検知設定メニューで【ブロックしきい値】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する値にして【決定】を押すと確定します。

5.アラーム入力
センサー入力により検知をする/しないを設定します。
センサータイプに応じて、<N/O>（Normal Open）あるいは、<N/C>（Normal Close）の検知方式を選択します。
アラーム設定メニューで【アラーム入力】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。
※【オフ】に設定するとセンサー検知機能は無効になります。
※【オン】の状態でもアラーム機器の接続がない場合、機能しません。

6.アラーム出力
指定したチャンネル数に対して、アラームリレーの設定を行います。
例として、動きを検知した際に回転灯や警報機を作動することが出来ます。
動き検知設定メニューで【アラーム出力】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、希望する設定にして【決定】を押すと確定します。

ハードディスク設定



①全容量

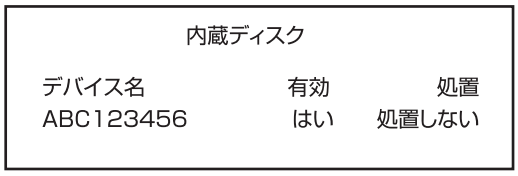
本体に搭載されているディスクの総容量（GB）を表示します。

②残量

ディスクの残量（GB）を表示します。
※上書きが【オン】の場合は表示されません。

③内蔵ディスク

ハードディスクの追加･切り離し･初期化を行います。
ハードディスク設定で【内蔵ディスク】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。



デバイス名　…ハードディスクの名前が表示されます。
有効　　…ハードディスクが有効になっている場合、【はい】と表示されます。
処置　　…以下の4つから処理を選択します。

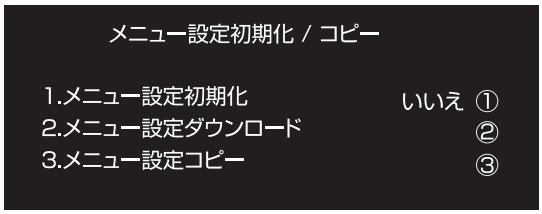
○処置しない
操作を行わない。

○追加
ハードディスクを新たに追加する際に選択します。

○切り離し
ハードディスクを本体から取り出す際に選択します。

○初期化
ハードディスクを初期化する際に選択します。

メニュー設定初期化/コピー

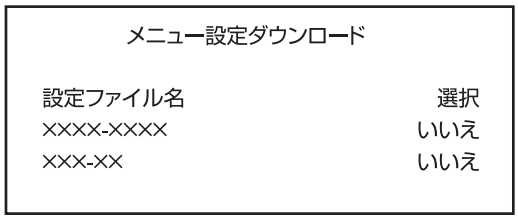


①メニュー設定初期化

各メニューの設定内容を工場出荷状態に戻すことが出来ます。
メニュー初期化 / コピー設定メニューで【メニュー設定初期化】を選択し、【決定】を押すと点滅します。
その状態で上下カーソルを動かし、【はい】にして【決定】を押すと初期化されます。

②メニュー設定ダウンロード

事前にUSBメモリースティックにバックアップしておいたシステム設定を読み込みます。
メニュー初期化 / コピー設定メニューで【メニュー設定ダウンロード】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。
※実行する前に、バックアップデータ入りのUSBメモリースティックを本体に接続してください。
※読み込み可能なファイルがない場合、「該当するアイテムがありません!」と表示されます。

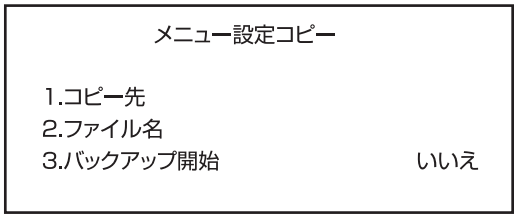


設定方法

設定を行うファイルを選択します。
上下ボタンで変更するファイルにカーソルを合わせ【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで『はい』を選択します。
最後に【決定】を押すと確認画面が表示されますので【決定】ボタンで実行、【戻る】ボタンでキャンセルします。

③メニュー設定コピー

現在の設定をUSBメモリースティックにバックアップします。
メニュー初期化/コピー設定で【メニュー設定コピー】を選択し、【決定】を押すと次のように表示されます。
※この段階で、USBメモリースティックを本体背面にあるUSB挿入口に差し込んでください。



1.コピー先
コピー先を選択します。
上下ボタンで【コピー先】にカーソルを合わせ、【決定】を押すと次のページが表示されます。

左画面の状態で【決定】を押します。
上下ボタンで【コピー先】にカーソルを合わせ、【決定】を押すと次のページが表示されます。
【決定】を押すと項目が点滅するので上下ボタンで『はい』を選択します。

メニュー設定初期化/コピー

2.ファイル名
バックアップするファイルに名前をつけます。
上下ボタンで【ファイル名】にカーソルを合わせ、【決定】を押すと次のページが表示されます。

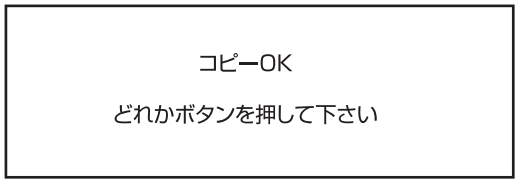
設定方法

1.上下左右方向ボタンでカーソルを移動し、文字を選択します。

2.次に【決定】を押すと入力区域内にその文字が追加されます。

3.入力完了後、カーソルを【OK】に移動し【決定】を押すと確定します。

3.バックアップ開始
バックアップを開始します。
上下ボタンで【バックアップ開始】にカーソルを合わせ、【決定】を押すと次のページが表示されます。



上画面でどれかボタンを押すとバックアップを開始します。
※バックアップ完了後はメニュー設定コピーページに戻ります。

シャットダウン

①電源オフ

DVRの電源を切ります。
シャットダウンメニューで【電源オフ】を選択し、【決定】を押します。
『You can safty turn off DVR now!(DVRの電源を安全に切ることができます)』と表示されたのを確認し、本体背面にあるACアダプタを抜いて電源を切ります。
※上記の作業を行わずに電源を切ると、故障の原因になりますのでご注意ください。

②再起動

DVRの再起動を行います。
シャットダウンメニューで【再起動】を選択し、【決定】を押すと再起動します。
※本体が完全に再起動するまで、カラーバーとシステム情報が画面上に表示されます。

録画時間目安表(4ch)

■録画解像度:720×480　ハードディスク容量:500GB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		30枚	15枚	7.5枚	3.75枚
録画画質	最高画質	200 (8.3日)	395 (16.5)	772 (32.2日)	1476 (61.5日)
	高画質	244 (10.2日)	481 (20.0日)	934 (38.9日)	1769 (73.7日)
	準高画質	312 (13.0日)	613 (25.5日)	1182 (49.3日)	2208 (92.0日)
	標準画質	434 (18.1日)	846 (35.2日)	1610 (67.1日)	2936 (122.3日)
	低画質	711 (29.6日)	1363 (56.8日)	2521 (105.0日)	4380 (182.5日)

■録画解像度:720×480　ハードディスク容量:1TB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		60枚	30枚	15枚	7.5枚
録画画質	最高画質	201 (8.4日)	400 (16.7日)	790 (32.9日)	1544 (64.4日)
	高画質	246 (10.2日)	488 (20.3日)	961 (40.0日)	1868 (77.9日)
	準高画質	315 (13.1日)	624 (26.0日)	1226 (51.1日)	2365 (98.5日)
	標準画質	439 (18.3日)	867 (36.1日)	1691 (70.5日)	3219 (134.1日)
	低画質	726 (30.3日)	1421 (59.2日)	2726 (113.6日)	5041 (210.1日)

■録画解像度:720×480　ハードディスク容量:2TB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		60枚	30枚	15枚	7.5枚
録画画質	最高画質	402 (16.8日)	800 (33.3日)	1581 (65.9日)	3089 (128.7日)
	高画質	491 (20.5日)	975 (40.6日)	1922 (80.1日)	3737 (155.7日)
	準高画質	630 (26.3日)	1249 (52.0日)	2451 (102.1日)	4729 (197.0日)
	標準画質	879 (36.6日)	1735 (72.3日)	3382 (140.9日)	6438 (268.3日)
	低画質	1452 (60.5日)	2842 (118.4日)	5453 (227.2日)	10083 (420.1日)

※録画時間は、スケジュール録画·モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。
また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

録画時間目安表(8ch)

■録画解像度:720×240　ハードディスク容量:500GB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		60枚	30枚	15枚	7.5枚
録画画質	最高画質	184 (7.6日)	363 (15.1)	711 (29.6日)	1363 (56.8日)
	高画質	220 (9.2日)	434 (18.1日)	846 (35.2日)	1610 (67.1日)
	準高画質	274 (11.4日)	539 (22.4日)	1044 (43.5日)	1965 (81.9日)
	標準画質	363 (15.1日)	711 (29.6日)	1363 (56.8日)	2521 (105.0日)
	低画質	539 (22.4)	1044 (43.5日)	1965 (81.9日)	3516 (146.5日)

■録画解像度:720×240　ハードディスク容量:1TB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		120枚	60枚	30枚	15枚
録画画質	最高画質	207 (8.6日)	367 (15.3日)	726 (30.3日)	1421 (59.2日)
	高画質	221 (9.2日)	439 (18.3日)	867 (36.1日)	1691 (70.5日)
	準高画質	276 (11.5日)	548 (22.8日)	1077 (44.9日)	2087 (87.0日)
	標準画質	367 (15.3日)	726 (30.3日)	1421 (59.2日)	2726 (113.6日)
	低画質	548 (22.8日)	1077 (44.9日)	2087 (87.0日)	3929 (163.7日)

■録画解像度:720×240　ハードディスク容量:2TB

（時間）

1秒間あたりのトータルコマ数		120枚	60枚	30枚	15枚
録画画質	最高画質	414 (17.3日)	734 (30.6日)	1452 (60.5日)	2842 (118.4日)
	高画質	442 (18.4日)	879 (36.6日)	1735 (72.3日)	3382 (140.9日)
	準高画質	552 (23.0日)	1095 (45.6日)	2155 (89.8日)	4175 (174.0日)
	標準画質	734 (30.6日)	1452 (60.5日)	2842 (118.4日)	5453 (227.2日)
	低画質	1095 (45.6日)	2155 (89.8日)	4175 (174.0日)	7858 (327.4日)

※録画時間は、スケジュール録画·モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。
また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

録画時間目安表(16ch)

■録画解像度:360×240　ハードディスク容量:500GB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		120枚	60枚	30枚	15枚
録画画質	最高画質	220 (9.2日)	434 (18.1)	846 (35.2日)	1610 (67.1日)
	高画質	274 (11.4日)	539 (22.4日)	1044 (43.5日)	1965 (81.9日)
	準高画質	363 (15.1日)	711 (29.6日)	1363 (56.8日)	2521 (105.0日)
	標準画質	539 (22.4日)	1044 (43.5日)	1965 (81.9日)	3516 (146.5日)
	低画質	1044 (43.5)	1965 (81.9日)	3516 (146.5日)	5808 (242.0日)

■録画解像度:360×240　ハードディスク容量:1TB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		240枚	120枚	60枚	30枚
録画画質	最高画質	248 (10.3日)	439 (18.3日)	867 (36.1日)	1691 (70.5日)
	高画質	276 (11.5日)	548 (22.8日)	1077 (44.9日)	2087 (87.0日)
	準高画質	367 (15.3日)	726 (30.3日)	1421 (59.2日)	2726 (113.6日)
	標準画質	548 (22.8日)	1077 (44.9日)	2087 (87.0日)	3929 (163.7日)
	低画質	1077 (44.9日)	2087 (87.0日)	3929 (163.7日)	7031 (293.0日)

■録画解像度:360×240　ハードディスク容量:2TB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		240枚	120枚	60枚	30枚
録画画質	最高画質	496 (20.7日)	879 (36.6日)	1735 (72.3日)	3382 (140.9日)
	高画質	552 (23.0日)	1095 (45.6日)	2155 (89.8日)	4175 (174.0日)
	準高画質	734 (30.6日)	1452 (60.5日)	2842 (118.4日)	5453 (227.2日)
	標準画質	1095 (45.6日)	2155 (89.8日)	4175 (174.0日)	7858 (327.4日)
	低画質	2155 (89.8日)	4175 (174.0日)	7858 (327.4日)	14063 (585.9日)

※録画時間は、スケジュール録画・モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。
また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

仕様 RD-3804 / RD-3805 / RD-3806

型番	RD-3804	RD-3805	RD-3806
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240		
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式		
映像入力	4CH（BNC）		
映像出力	メインモニター×2（BNC/VGA）、スポットモニター×1（BNC）		
最大コマ数	120コマ		
分割表示	全画面、4分割		
音声入力	4ライン入力(D-sub)		
音声出力	1ライン出力(RCA)		
録画画質	最高画質、高画質、準高画質、標準、低画質		
内蔵HDD容量	500GB	1000GB	2000GB
録画モード	スケジュール、アラーム、動き検知		
バックアップ方法	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R		
アラーム入力	4入力(D-sub)		
アラームリレー出力	1出力(D-sub)		
アラーム検出	N.C./N.O.　選択可能		
動き検知	15×15グリッド、感度、トリガレベル調整		
ビデオロス検知	あり		
上書き機能	あり		
ネットワークプロトコル	RJ45、10/100/1000 Mbps イーサネット		
リモートソフトウェア	あり		
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定、アーカイブ		
RS-485	D-sub		
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行		
PTZカメラ制御プロトコル	Digiplex-422/Impac-485/Panasonic/JVC/Molynx/Fastrax-2 Pelco P/Pelco D/AD422/DSCP		
外形寸法	362（幅）×350（奥行）×90（高さ）mm		
重量	5.5kg		
動作環境温度	-5度～40度		
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと		
電源	DC12V/60W		
付属品	取扱説明書、リモコン、DC12Vアダプタ、電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×5		

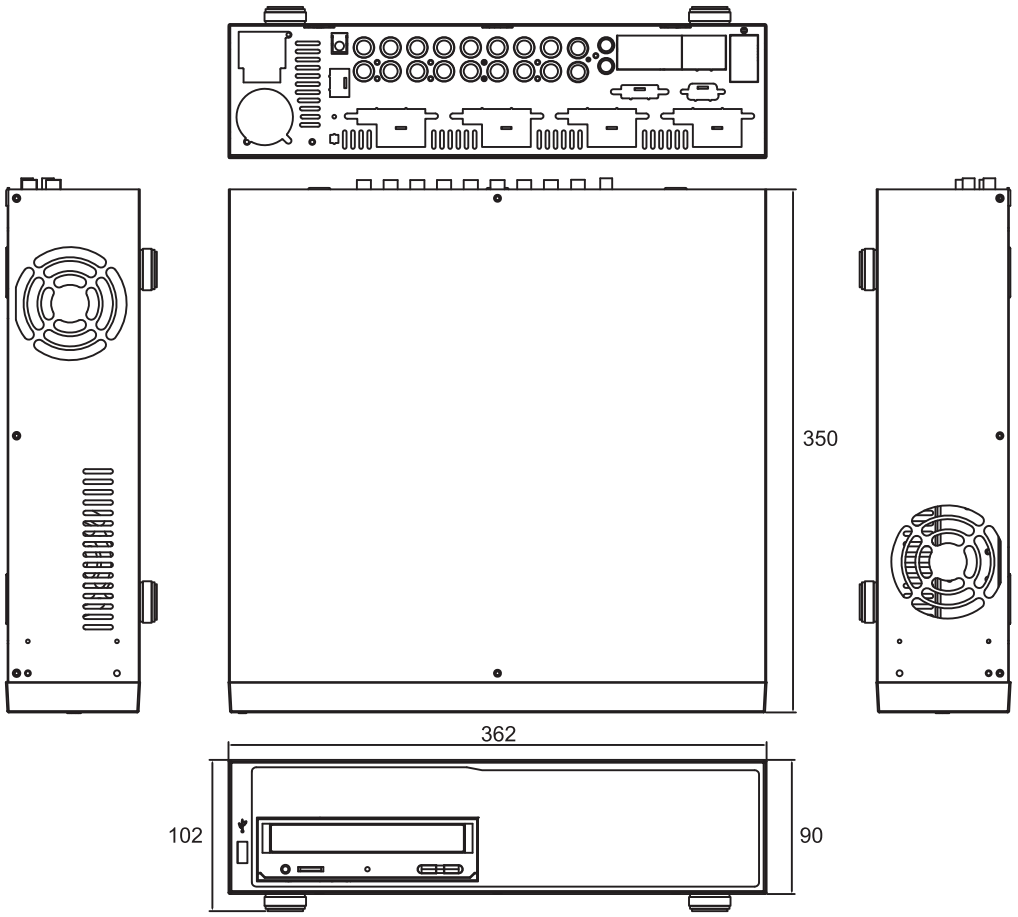
仕様 RD-3808 / RD-3809 / RD-3810

型番	RD-3808	RD-3809	RD-3810
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240		
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式		
映像入力	8CH（BNC）		
映像出力	メインモニター×2（BNC/VGA）、スポットモニター×1（BNC）		
最大コマ数	240コマ		
分割表示	全画面、4分割、9分割		
音声入力	8ライン入力(D-sub)		
音声出力	1ライン出力(RCA)		
録画画質	最高画質、高画質、準高画質、標準、低画質		
内蔵HDD容量	500GB	1000GB	2000GB
録画モード	スケジュール、アラーム、動き検知		
バックアップ方法	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R		
アラーム入力	8入力(D-sub)		
アラームリレー出力	1出力(D-sub)		
アラーム検出	N.C./N.O.　選択可能		
動き検知	15×15グリッド、感度、トリガレベル調整		
ビデオロス検知	あり		
上書き機能	あり		
ネットワークプロトコル	RJ45、10/100/1000 Mbps イーサネット		
リモートソフトウェア	あり		
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定、アーカイブ		
RS-485	D-sub		
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行		
PTZカメラ制御プロトコル	Digiplex-422/Impac-485/Panasonic/JVC/Molynx/Fastrax-2 Pelco P/Pelco D/AD422/DSCP		
外形寸法	362（幅）×350（奥行）×90（高さ）mm		
重量	5.5kg		
動作環境温度	-5度～40度		
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと		
電源	DC12V/60W		
付属品	取扱説明書、リモコン、DC12Vアダプタ、電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×9		

仕様 RD-3816 / RD-3817 / RD-3818

型番	RD-3816	RD-3817	RD-3818
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240		
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式		
映像入力	16CH(BNC)		
映像出力	メインモニター×2(BNC/VGA)、スポットモニター×1(BNC)		
最大コマ数	480コマ		
分割表示	全画面、4分割、9分割、16分割		
音声入力	16ライン入力(D-sub)		
音声出力	1ライン出力(RCA)		
録画画質	最高画質、高画質、準高画質、標準、低画質		
内蔵HDD容量	500GB	1000GB	2000GB
録画モード	スケジュール、アラーム、動き検知		
バックアップ方法	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R		
アラーム入力	16入力(D-sub)		
アラームリレー出力	1出力(D-sub)		
アラーム検出	N.C./N.O.　選択可能		
動き検知	15×15グリッド、感度、トリガレベル調整		
ビデオロス検知	あり		
上書き機能	あり		
ネットワークプロトコル	RJ45、10/100/1000 Mbps イーサネット		
リモートソフトウェア	あり		
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定、アーカイブ		
RS-485	D-sub		
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行		
PTZカメラ制御プロトコル	Digiplex-422/Impac-485/Panasonic/JVC/Molynx/Fastrax-2 Pelco P/Pelco D/AD422/DSCP		
外形寸法	362(幅)×350(奥行)×90(高さ)mm		
重量	5.5kg		
動作環境温度	-5度～40度		
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと		
電源	DC12V/60W		
付属品	取扱説明書、リモコン、DC12Vアダプタ、電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×17		

■ 外形寸法図（単位:mm）



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
リモコンを押しても動作しない	電池がなくなっている	電池を新しいものに変える
記録できない	記録領域が一杯になっている	データを削除する
	上書き設定を「しない」に設定している	録画設定内上書きを [する] に
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	タイマー記録の設定を正しくやり直す
モーション録画ができない	モーション設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す
日付と時刻が表示しない	操作表示部の表示を消している	システム設定内のディスプレイ設定を正しくやり直す

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。
① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）
② 品名と品番
（4chDVR RD-3804 など）
③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
④ 製造番号（保証書に記入）
⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

メモ

メモ